

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-88)、廃棄物管理施設(63)、MOX燃料加工施設(2-49))」
2. 日時：令和5年8月21日(月) 15時00分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員  
日本原燃株式会社  
燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長 他3名
5. 要旨  
(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの当日の提出資料に基づき、申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理について確認を行った。  
  
(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
  - ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理の方針(以下「整理方針」という。)に関する確認事項に対して、本日提示した資料では十分な検討ができていないことを認識したが、まずはこれまでのヒアリングを踏まえて当該整理方針をまとめて提示し、引き続き検討する事項を改めて整理し示す。
6. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

## 7. その他

### 提出資料

「共通 12 に係る修正・対応方針」

### 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和 4 年 12 月 26 日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 5 年 2 月 28 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 5 年

2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画  
の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、6を返しました。
0:00:03	成長の話です。それであと、
0:00:09	下ネタはヒアリングを開始します。
0:00:12	ヒアリングは令和4年12月26日に申請があった、再処理施設、廃棄物管理施設、また、令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、
0:00:25	資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになりますと規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室より、
0:00:35	コサクフジワラカミデタジリオオハシオノヨコヤマヤマグチとその他言ったら、ハバサキをタケダ。
0:00:46	以上になりますとそれでは日本原燃の方から出席者の紹介と、要するにあかりと麻生。
0:00:54	資料の、本日の議題の構成を説明し資料の説明を開始してください。
0:01:01	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:01:04	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:08	ヒアリングチームより、イシハラ、
0:01:11	イシグロタカヤ。
0:01:13	あとボックス及び再処理の事務局参加させていただいております。
0:01:20	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、本日、午前中にご提示差し上げました、共通12に関わる修正対応方針につきまして、ご確認いただきたいと思っております。
0:01:34	それでは説明の方開始させていただきます。
0:01:40	はい。日本原燃石田でございます。
0:01:44	これまで
0:01:46	1月だと8月9日8月17、8月8日後ですが、
0:01:52	共通に関する様々なやりとりをやらさせていただきました。その中でのやりとりを踏まえました、対修正対応方針として、本日付で共通に係る修正対応方針ということで、
0:02:07	資料を提出させていただいております。
0:02:12	恩恵の資料でございますが、色分けをあまりもともとスズキがなかったんですがなぜか青字を黒字になってますんで、
0:02:20	青で書いてある部分が、大枠としてこの方針はまだ近いと整理をしておかないと、個別の作業をやっていってもどんどん方針が付けていくということも、

0:02:30	リスクとしてありますので、まずしっかりと、どういう目的でそこをし、仕上げていくのか、考えていくのかと。
0:02:37	いうことを立てた上で非常に備忘録的になってしまっていて、些末な話も含めて入っていますが、記載の適正化としてのやっつけていかなきゃいけない項目も矢印で記載をさせていただいてございます。
0:02:53	本来であればこの子私のやっぱり個別よりも、大枠の方針でどういうふうに進めていくのかと、いうことをちゃんと更新として示して、各作業に展開できるようにということだけの資料 2 でき上がればよかったんですがまだそこまでなりきれておらずというところでございますが、
0:03:10	まず 1 ポツ、2 本II全体 3 ポツ、4 ポツ目ですかね、
0:03:19	最後小塚までございます。1 冊になるのは 1 ポツの共通 12 の本体の方の、各資料も含めた構成であったり各資料で説明すべき内容であったり、
0:03:34	資料館の紐付けという部分でございます。
0:03:37	はい。ここについての大枠の方針、どう考えていくのかということは今後、当然ながら本文も含めて仕上げていかなきゃいけないですので、方針として示させていただくものというのをそれぞれの項目で、
0:03:51	記載をさせていただいてございます。
0:03:54	はい。またちょっと個別の項目で出すとまた方向が増える可能性があるというリスクも考えながらも、
0:04:03	対象の徹底説明分類のところを、2 ポツとして挙げさせていただきました。
0:04:08	ここもう、共通的な設計説明文の考え方は、最初にだろうと、廃棄物変わる施設あとMOXだろうと変わらないと思ってございますが、
0:04:19	再処理の特徴ってのは何なのかということをしっかり押さえた上で、そこに対しての設計説明分類、説明グループも含めた考え方を整理する必要があると思ひまして、2 ポツとして、
0:04:32	対象表設計説明分類説明グループの設定に対する方針ということに記載をさせていただいてございます。
0:04:42	また、もう一つの大きな柱として 3 ポツ、解析評価等の整理ということで、こちらもこれまで 2-1 の構造システム設計構造設計等を共通順位で整理をすると。
0:04:57	言いながらやはり基本設計方針から展開をするとすると、評価の話に乗っけて話をするというのは成立がしないというところもあって、

0:05:06	評価の話もしっかりと書いて考えた上で、どう組み立てていくのかと、また、二ノイチの構造設計等と評価がどう絡むのかということも考えて構 造性改革、設計側で説明すべき事項を洗い出していくと。
0:05:19	いうことも含めて全体整理が必要だというふうに考えまして3ポツと、
0:05:24	いうのも挙げさせていただきました。
0:05:26	若干ナカザキか及ばず3ポツ2以降が瑣末な話を含めて個別の作業 の具体の細かい話を非常に書いてますが本来であれば
0:05:38	ランパート1の中で全体受けて、大きな方針を書くべきところかと思いま すが、これも左右の中で抜け漏れがないようにということも考え、3ポツ 2以降の説明を、
0:05:51	記載をしてございます。
0:05:54	はい。日本と4は全般ですので、これ、
0:05:59	6特別単独で上げるというよりは他の資料も含めた全体での共通的な もの。
0:06:05	5ポツが審査会合でどう今後説明していくかという話が出てましたこれ を5ポツということで挙げてございます。
0:06:12	はい。
0:06:14	それぞれのダムへ書いてあることは、
0:06:17	そのまま読んでもあまり意味がないと思いますので、説明は以上でござ います。
0:06:26	規制庁山口です。それでは規制庁側から確認ございましたら願いま します。
0:06:34	規制庁コサクです確認というか、所感をまず述べた上で共同しますって いうことをまず、
0:06:41	話をしたいんですけど。
0:06:44	石原さん言われたように、対応方針として
0:06:50	対応方針たる内容として、
0:06:54	まとめましょうと。
0:06:55	それを踏まえて、共通12本分、それぞれの資料というのが作業者と認 識共有ができる状況にしましょうねと。
0:07:07	いうことだったんですけど、
0:07:12	ある程度青字のところでは方向性は書いていただいたとは思いますが、
0:07:20	それに応じて、十分
0:07:24	矢印のところっていうのも、この部分が適切なのかって思うようなこと がいっぱいあってですね。

0:07:32	この対応方針自体を議論してもあまり意味がないかなって感じがします。
0:07:38	というのも共通 12 の本文が、
0:07:43	明後日ですかね。
0:07:44	資料提示がもうあるってことなので、内容としてはそっちを見ちゃった方が、
0:07:51	いいのかなあ。
0:07:53	こちらのさ、修正作業しても、二重になっちゃうので、内容は今日通常 2 本分でやるってことでいいのかなあと思いますけどそれでいいですか。
0:08:07	まず、
0:08:11	はい、弓削医長でございます。はい。
0:08:14	おっしゃっていただいている通りで私も整理を最後しながら、矢印、すいません。これは明らかにどんだんのは、
0:08:25	しながらもう全部整理してなかったのが実態でございます後は、これを一つ一つやるという今おっしゃっていただいているようにこれを踏まえて、
0:08:36	共通 12 の本文がどうして上がるのかというところで増額の方針も含めてしっかりと書き切れているかと。
0:08:43	ということでのやりとりが、
0:08:47	一つやりとりとしてはあるかなと思いますので、
0:08:50	はい。おっしゃっていただいている通り、これでやりとりというよりは共通 12 の本文を出した時にそれを含めて、やりとりができればと思います。はい。
0:09:01	はい。規制庁日下です。
0:09:04	一方
0:09:07	今後竜巻なり溢水なりに対しても、対応方針ということで、振り返りは整理をしていきましょうねと。
0:09:15	いうことを言っているので、対応方針の書き方、どういったところを意識してやるべきかといったことは、認識共有を今日していった方がいいのかなと思うんですけど。
0:09:28	その点は、
0:09:30	この資料だと 4 ポツ全般事項ということで書いていただいているので、オオバ食う、その共通中に本文としてどう作業してますかっていう事実関係を、
0:09:42	確認するっていう形で今日の資料の

0:09:46	順番ある程度枠を置きながら聞いていければいいかなと。
0:09:53	いうふうに思っているのだからそこら辺を聞いた上で、最後に4ポツ全般事項のところ、対応方針で今後どういうふうにまとめていきますかと。
0:10:03	いうこととお話をさせていただければと思います。
0:10:08	それでよろしいですか。
0:10:12	はい。日本原燃石田でございますはい。ありがとうございますそのやり方ではいい。協議いたしました。はい。
0:10:20	はい。規制庁コサクです。と言いつつですね全般の構成なりのところで違和感のあるところだけまずお伝えをすると。
0:10:29	或いは、私の理解っていうところでお伝えをするとですね、
0:10:35	と1ポツ1わあ、共通12本分として構成見直しでそれぞれ何を書くものということで見直すのかという方向性をまとめられたと。
0:10:46	いうことで理解をしますけどそれでいいですよ。
0:10:51	はい、宮下でございます。はい。おっしゃっていただいている通りの考え方で、青字の部分は整理させていただきました。はい。
0:11:00	はい。規制庁コサクです。次の1ポツ2が、本文にぶら下がるって意味での参考資料ということになって、残念ながらこの青字はですね、各資料の作成方針を示すものって言われてるんですけど、
0:11:16	作成方針を示すのは本文であって参考資料じゃないんですよ。
0:11:20	そこを誤解して書きちゃったから前回コメントが出されてるってことだったと思うので、
0:11:28	本文で書いている作成方針の、
0:11:31	イメージ、例示っていうところ、或いはテンプレート的なことというのを図で示す。
0:11:38	ものとして参考資料があるんだと思ったんですけど。
0:11:41	それでいいですよ。
0:11:43	はい、与儀石田でございます。はい。私の部分の言葉足らずだと思えますが、おっしゃっていただいている資料自体共通中に、いろんな各資料ありますけどどういうふうにするかの作成方針は、本文に書くべきことだと思っております。その細かい英字として、
0:11:59	そのイメージを示すという意味で参考でつけるということで認識しております。はい。
0:12:06	はい。補足です。
0:12:08	その趣旨がこの青字の最後の共通中に本文に示すってというのは、
0:12:14	方針たる骨格はちゃんと文章で書きますよと。



0:12:19	いうことを
0:12:21	ヒアリングで話をした順番で、
0:12:23	書いたからこうなってるんだと思うんですけど、整理し合うとすればそれがあつた上で、それに対して、補足の説明をできるようにっていう、この作成方針になるんだろうなと。
0:12:37	思っていました。若干先ほど4ポツで話しますねって言ったようなところに踏み込んでますけど、
0:12:43	そう思ってます。で、次1ポツ3が資料1。
0:12:50	それにぶら下がる形での別添と、
0:12:54	というのがあって、その次1ポツ4が資料2、1ポツ5が資料3と。
0:13:00	ということで、ここまでは資料、
0:13:05	構成に応じて書かれているということで理解をしています。若干1ポツ31ポツ41ポツ5っていうのは、
0:13:16	1ポツ1とどういう関係にあるんだ。
0:13:19	ていうことが、いまいまだ整理しきれないかな同じことが書いてあるなど、青字も含めて同じ事が書いてあるので、
0:13:29	よくないなというふうに思ってます。具体的には
0:13:35	先ほどその参考資料のところでもお話しましたが、
0:13:39	資料123をどう書くかっていう方針は本文で書くと。
0:13:43	ということなので1ポツ1で書いてあればもうよくて、
0:13:47	具体の、今回1ポツ3号で書くとすれば、基本はその1ポツ1の整理にしたがって具体化していきますと。
0:13:56	いうだけで本来はよくて、
0:13:59	一方でこれまでのヒアリング
0:14:02	全体方針以外に、個別具体みたいなことがあつた場合には、ここで何か書いてあつてもいいのかなと。
0:14:11	いうイメージでいたんですけど。
0:14:16	ええ。
0:14:17	その点で何かはい、そのどっちでどうしたらいいかなっていうので悩まれてこうしましたとかっていうのも、何かありますか。
0:14:26	はい、日本インダでございます。はい。まず一つはすいません私がまず、志向が逆だった可能性は高い。
0:14:38	ダブって書いたのは意図的に移送した部分もありました。おっしゃったように1ポツ1で全体の方針を述べるのD資料での役割とか、

0:14:48	それぞれで何を達成すべきか、ここでの作成方針であるものは、本文の中でしっかり書くとすると1ポツについて書けばいいということだと思いつながら、
0:14:58	それぞれの資料でもやはり目的をちゃんと示した上で、この方針に従って変えていくということ、若干ながら書きた変えて、
0:15:10	具体性を持たせたいなというところもあって、中途半端になったというところだと思います。はい。やりたかったことをおっしゃっていただいて、それに従ってまず資料を作るんだと。
0:15:23	ということ。個別具体何らか解除実行があれば、1票ご都合は1ポスターもですね、変えていけばいいということもあるとは思いつながら、どっちかだと思つてます。
0:15:37	はい規制庁コサクです。
0:15:40	私はその意図は何となくみ取りながら読みはしましたけど、
0:15:48	そういう時はちゃんとその旨書いてとか一ということ明示を逆にして、
0:15:55	私がさっき言ったようなことですけど、1ポツ1のその本文での整理に従つていいながら、その本、1ポツ1の整理のどの部分つていうのを、以下示すみたいなことで、
0:16:07	最初のぽつぽつつていうのを書いたりですね。
0:16:10	すれば読み手も、
0:16:12	コピーなんだなつていうことがわかるつていうようなことで、整理できると。その舞台つていうのもどこをどう具体化してるのかつていうのを、
0:16:22	また、変えていけばいいんじゃないかなと。
0:16:26	いうふうに思つます。
0:16:33	名の
0:16:35	何ですか。全体の方針だったり、参考資料での具体を示すつていうことじゃないことであれば1ポツ31ポツ41ポツ後でそれぞれ
0:16:49	資料としての細かい修正のポイントつていうのは、挙げておくつていうのはまあいいんだらうなと思つてます特に
0:16:58	水曜日資料では、1ポツ2の参考資料までつていうことでしょうか、
0:17:04	そこまでの部分は、もう共通12の水曜日の資料を見ればいいんですけど、
0:17:10	それで残つている資料、その後の資料123で対応すべきものつていうところは整理をしておいた方がその後の作業でもいいのかもしれないなつていうふうに思つています。
0:17:24	その次

0:17:28	4 ページって 2 ポツに行くんですね。
0:17:30	これがよろしくなくて、
0:17:33	再処理施設のといつて、再処理施設の投資で特記しないようにと言ったやつを、
0:17:39	共通中に特記しないのに何で対応方針特記してんだと、ということなんですけど何か弁明ありますか。
0:17:54	はい。日本原燃石原でございます。はい。弁明は特にございませんおっしゃっていただいている通り 1 ポツ 1 のところの一番大枠で、別に MOX のための共通大井やないですので、
0:18:07	連携説明分類の設定とか含めて、全体としての考え方というのも、
0:18:14	再処理の要素も含めながら、共通的な方針に書くべきだというふうには思いました。はい。ちょっとそこは、共通的な考え方として、設計して説明すべき項目との関係性を踏まえて分類を考えるんだと。
0:18:30	共通方針だけを 1 ポツ 1 に書いてあとは、それを具体的にどう展開するかを最初にばーんだと思う。ということで 2 ポツで切り分けたというところでございます。はい。
0:18:44	規制庁補足です。その再処理版ということ自体がナンセンス再処理も含めて考え方を整理をするということで、1 ポツ 1 なりそれ以降があるので、
0:18:56	その中で、最初にして或いは施設の違いということで考慮しなきゃいけないことと、
0:19:03	いうものを、
0:19:05	特記ステップそれぞれで変えていけばよかったと思ってます。
0:19:14	この後具体的に話を聞き、順々に聞いていくときには、そういうつもりで聞いてきますので、その時の再処理の反映はということはこのページで書いてあること適宜抜き取りながら、
0:19:27	話をしていければいいかなと思ってます。
0:19:32	次 3 ポツについては、
0:19:37	2-2 っていうことなんですけどこれも 2-2 に係る整理方針では本来共通 12 だと、こういう表現ではないと思うんですけど、
0:19:47	整理不十分で近づきましたっていうことのようにではありますが、どうまとめれば本来よかったと思います。
0:19:55	はい。稲毛の石田でございます。はい。おっしゃっていただいているように 2-2 というよりはまず、

0:20:03	設計として説明すべき項目の1項目でしかないので、それを全体どうやってカバーしていくのか、網羅性を持っていくのか。
0:20:13	それを要求事項との関係でどうひもづけて、それぞれの具体を展開していくのかというところの大枠があつての、話してその中で、それぞれ留意する事項があると思いますのでその一つが、
0:20:27	評価の話だと思います根井二ノイ2のサポートよりは1-1で、全体で書ききれば、個別の話は個別の話なのかもしれないし大枠はその中で、
0:20:39	話をしないといけないかなと思います
0:20:43	と思いながら個別に分けてしまったところは、おっしゃっていたように、若干力付関わりますはい。
0:20:50	規制庁コサクです。どうあるべきかっていう意味では、大体今言っていたただいた通りかなと思ってまして。
0:20:58	3の一井さんの2-1といったところは、これは市野一井のところでは整理ができる話と、
0:21:08	ということだと思います。実際に1-1見てもですね、
0:21:13	説明事項として、構造設計等と言っているところに加えて評価っていうのもありますよと。
0:21:20	いうのを明示して書いてあつたりしているので、
0:21:24	一方で淡路に書いてあるところ二ノイチっていうところの説明で止まっちゃってますから、これにその次の2があるんだよということで、3-2-1みたいなものがそのところに入り込めばですね、
0:21:38	今3-2-1のところ、資料2を用いてとか、
0:21:44	資料3にてっていう、それまでに整理したことまで書きちゃってますけど、
0:21:49	統合できる話をまた、重複して書いてますねっていう感じになっちゃっているんで、
0:21:58	1-1に入れられたのじゃないかというふうに思ってます。
0:22:02	その後の3-2-2。
0:22:06	に行くと、
0:22:07	それも全体の話だろうっていうのが次の項目ですけど。
0:22:13	3-2-2-2の方いけば、個別具体になるので、
0:22:18	これわあ、
0:22:21	本当の2-2の話であれば資料4としての、

0:22:26	今後作成するにあたっての留意事項みたいなことで上がってくるはずと。
0:22:33	思ってるんですけど。
0:22:35	現状何でコメントが出てるかっていうと、資料資料3の中で対応しなきゃいけないって言うところが、
0:22:43	十分抽出できてないから話をしていたんであって、
0:22:47	それであれば、ここではなくて、資料3っていうことなので、
0:22:53	1-5のところ表されてなければ本来いけないと。
0:23:00	いう。
0:23:01	ことだと思うんですよ。
0:23:05	一方で、今回資料4がないなか一書いているところからすると、両方書きたいっていうので、ちょっと個別に書きましたっていうのは、気持ちはわからんではないなっていう気はするんですけど。
0:23:21	そのあたりを踏まえてこういうふうにとりあえず置いときましたとかっていうところまで考えていただいているのであればいいかなと思ったんですけど、そこまでいってなかったっていうことのようなので、
0:23:36	今後にあたっては少し考えてもらえればなというふうに思います。
0:23:45	はい。4ポツゴウ座間その後っていうことなので、全体としての所感をとりあえずざっとお話します。
0:23:55	Head。
0:24:00	今後どうするかまた戻っ最後4ぽつでっていうことなので、個別に入りたいと思いますけど原燃。
0:24:09	進めちゃっていいですか。
0:24:13	はい、はいありがとうございます。大丈夫ですはい。
0:24:18	はい。規制庁コサクです。そうするとですねまず、
0:24:22	ほとんど本文の話がメインだと思うので、1ページ目でほぼ尽きるような気がするんですけど、といっても特に2章3章ってなると、
0:24:34	資料12の関係資料3との関係ということもあるので、その次の
0:24:43	2ページ3ページの部分も含めてっていうことに、或いは関連するという4ページでの再処理の、への配慮と、
0:24:52	学部の関係っていうことになろうかなというふうに思います。
0:24:56	それまず、
0:25:01	大枠としてわあ、
0:25:05	ヒアリング、こないだのヒアリングで話した通り、

0:25:08	第 2 章ってことのところ第 2 章で資料 1 に、
0:25:14	をまとめます。
0:25:16	ということでもいいんですよ。
0:25:19	はい。弓削の石田でございます。はい。おっしゃっていただいているのです。以上が資料 1 に、そこで扱おうと思ってました。はい。
0:25:26	はい。補足です。で、その上で参照資料 34 章で資料 4 っていうことだと思っんですけど、
0:25:36	これ、第 4 章は何か書くイメージをもう持っていてっていうことでもいいのか。
0:25:42	どうなのかっていうことなんですけど先ほど
0:25:45	3 ポツの方でもですね、
0:25:48	資料三、四っていうのは関連があっっていうような話しましたけど、
0:25:52	文章として 3 章 4 章で分けて書けるのかなというのが若干心配だったんですけど。
0:25:58	どう考えてます。
0:26:01	はい、弓削西田でございます。まず、3 章 4 章と 4 章まで立てたのは全体像という意味で 4 章ということの項目を出そうと思って出しました。
0:26:14	ただ現時点で 3 章でいう資料 3 であったり二条で資料 2 との関係で、評価、解析評価の話をどうひもづけていくかと。
0:26:25	いうところの考え方を整理するだけが精一杯かなという気がして要衝が具体的に何か書けるかという
0:26:33	大枠、こういうことをやりたいんだというイメージしか書けないかなという気はしてます。そういう意味で、4 章を当てて書くべき状態なのかっていうところは若干まだ検討が必要かなというふうに思っておりました。はい。
0:26:49	規制庁コサクです。その意味だと現時点において算制度がっていうので、今後変えていく部分をまとめておきたいということだと理解をしました。
0:27:01	けども、
0:27:04	現時点において資料 3 では、資料 4 に振るものがあったり、
0:27:10	資料 4D、
0:27:12	受けなきゃいけないこと資料 2 を踏まえてということもありますけど、全体像として示す上

0:27:20	第4章で書かなきゃいけないことっていうのは現時点においてもあると思いますので、具体は書けないにしてもそういう関係性っていうことだけは書いておくのかなと思ってたんですけど。
0:27:31	どんな状況でしょうか。
0:27:34	はい、日本イシハラでございます。はい。
0:27:37	水曜日出すのについていう気はしますがはい。4章って書いてるのが現状でして、大枠しかまだ書けてないので。はい。
0:27:47	風は含めますはい。
0:27:50	規制庁コサクです少なくともここで対応方針で書いてある、3ポツで対応方針に書いてあることとかですね。
0:27:58	いうのを、
0:28:01	本文に適切に一緒に小参照4章にして構えていただいて、そうすると4章何らか書くことありますよねっていうことだと思いますので、
0:28:12	大枠としては書くということで進めてください。
0:28:23	その上、
0:28:29	気になっているのはですね。
0:28:32	整理、第1章は、そういったその全体構成。
0:28:37	の話をする。
0:28:39	そもそもその共通上にて何をやりたいものなのか。
0:28:43	だからこういう章立てでこういうふうな、
0:28:46	整理を進めてますっていうようなことを語られるっていうことだと思って。
0:28:51	いきます。で、その上で、第2章では資料1にということで、具体の3章4章に入る前に整理をしておかなきゃいけないことと、
0:29:03	いうのをまとめられるということ。
0:29:05	なんですけど、
0:29:08	等、
0:29:17	資料、
0:29:18	1の関係を最初書こうと思っても、
0:29:22	横軸は設計説明分類が書いてあって、
0:29:26	それってどっから出てくんじゃ。
0:29:29	設計説明分類じゃないよ。説明すべき事項として、各条文の要求事項ということが書いてあって、どっから出てくんだっていう古藤がわからないと。
0:29:40	それはでも資料2で整理するんですよっていうことで、

0:29:45	しょっぱなからその関係性を述べなきゃいけないと思ってたんですけど、どう考えてます。
0:29:59	はい、二本木西原でございます。まずおっしゃっていただいている資料1出てくる各条文ごとの申請対象設備との関係ですね。これ、
0:30:11	資料2で整理をしていく内容を取り込んでいると、いうことはおっしゃっていただいている通りだと思いますただもう一方、言う前お話をした、もうすでに中身を入れ替えてしまっているところありますけど、
0:30:26	申請書の添付でつけた申請対象設備リスト、これでも条文と設備の関係を示していたので、それも一つのインプットとして整理できないかなということで、考えてました。はい。
0:30:38	規制庁コサクですごめんなさい。話がかみ合っていないような気がするんですけど。
0:30:43	まず資料1として作るのは設備リスト。
0:30:47	と同様に、対象物をちゃんと漏れなく上げて整理をしていきますと。
0:30:54	ということでまず言うと、
0:30:56	いうの資料1があるのはそれはその通りだと思うんです。その時に、何と紐づけて分類を整理しますかと。
0:31:05	言うと説明すべき事項で、同一性のあるものをまとめますと、
0:31:10	ということと。
0:31:12	いうことになりその説明すべき事項っていうのをどうするかってなると、
0:31:17	資料にまずは基本設計法等を分解しながら、さらにシステム設計構造設計、配置設計評価と、
0:31:28	ということでの設計項目ってここでは書かれてますけど、そういうのの類型もしながら
0:31:35	分解して整理をしていきますと、
0:31:39	ということで資料2が出てってということ等、
0:31:43	なんじゃないかと思ったんですけど。
0:31:46	はい。日本インダでございます。ありがとうございますおっしゃっていただいている通りですね
0:31:51	設計説明分類決める時おっしゃっていただいた要求事項に入ってどんなパーツ、どんなよう設計を説明しなきゃいけないかっていうのとそのグルーピングをどうしていくかっていうのが、
0:32:02	ひもづけながら整理をしていくので、
0:32:05	素行、そうですね、資料1で説明します資料ニワってところの紐づけをうまくやらないと、説明はできないか。



0:32:17	はい。おっしゃっていただいてもいいですね、こう考えなきゃいけないですねはい。
0:32:22	はい、古作です。瀬、
0:32:25	説明すべき事項って説明すべき項目かといったときに、資料 2 では足りなくて、書いていただいた通り、
0:32:36	最初だと 2 章で、各条文の要求事項等って書かれていますけど、
0:32:43	その市、
0:32:45	これでいうと、
0:32:47	4 ポツ目のところでは、各条文の要求事項ってなって、
0:32:53	これが資料 2 に対応することを言われているんですかね。
0:32:58	はい、そうですねはい。
0:33:00	衛藤ってなんだよってなる等、
0:33:07	あれですかね、評価方法を変えたり既認可からの変更点だったり、
0:33:12	はい。ということですかね。
0:33:14	はい。
0:33:16	規制庁コサクです。そういったことを、最初の資料 1 作り込むときにこういうことを挙げていきます。先ほど、横軸でいう説明事項というのを、
0:33:28	どういうふうを考えてピックアップしていくかと。
0:33:31	いうゴトウを一式ちゃんと上げていかない等説明漏れが出ちゃうっていうことだと思うんですけど。
0:33:41	各条文の要求事項については資料 2 で分析してっていうことで書いてくれればあとは資料 2 で詳述していけばいいんですけど、
0:33:50	それ以外の項目ってどこで詳述することになります。
0:33:57	はい。日本原燃石原でございますはい。少なくとも、右側の変更点なんかは 2 章の中で説明すべき項目として、
0:34:10	ピックアップしていくということだと思ってました。
0:34:16	規制庁補足です。現状だと資料一位なり、資料 1 に、
0:34:22	詳述はしてなくて、
0:34:24	結果だけ思うものに資料 1 の横軸になっていると。
0:34:30	ということなんですけど。
0:34:36	資料 1 の横軸にあるでしょう。
0:34:39	設立の横軸に、
0:34:41	ないよ。
0:34:42	横軸が動かなかった立岩設備だから、

0:34:47	はい、イノウエイシハラです今ピックアップの仕方が抜けてるかもしれませんが既認可からの変更点として例の、
0:34:56	評価だけではなくて改造としてサポート出したりとかパネルを買いたいとか項目ごとに、どの条文の要求で、既認可から何らか構造したのがあるかどうかというのを入れてました。
0:35:10	それが一つのキーワードとしてピックアップしようと思って資料1の中で展開したものになります。
0:35:20	規制庁コサクです。
0:35:24	既認可からの変更点っていうのをどう抽出してくんだっていう考え方は整理をしていないとおかしくて、
0:35:32	前回耐震の関係でワー
0:35:35	変更してないものをなんで変えてるんですかみたいなことを少し話したりっていうのありましたけど、
0:35:41	大本戻る等こういうものをピックアップして、説明が漏れないようにしますっていう宣言がないとおかしいってことだと思うんですね。
0:35:51	それを、
0:35:55	その他変更ないのかとか、
0:35:58	いうところをどうやって説明していくか、っていうことのような気はするんですけど。
0:36:06	耐震なり何なりであれば、個別説明資料の中で、変更点っていうのをまとめていたと思うので、そういうのに飛ばすのは飛ばすでも構わないと思うんですけど、
0:36:18	何か耐震以外で考えてることあります。
0:36:25	はい、与儀西原でございますはい。現状まだ、資料1もMOXしか全体像が示せてないのでパーツとしては、非常に、
0:36:38	なんでしょう今アノ、
0:36:41	切り取りみたいな感じになっちゃいますけど少なくとも、耐震の補強等だけではなくて
0:36:50	パネルの変更とかですね、等は、あれ、パネルの変更ぐらいだけ火災であるの。
0:37:00	いやそれ以外、耐震と%河西。
0:37:05	防火シャッターの設置も課題だな、がサイトウ耐震ぐらいしかもう比べてこないのすごいですけど。

0:37:11	来処理だと、溢水とかの考慮で何か変えたりというのも、変更点であげようということでピックアップしてます。その抜け漏れなくそこを上げるというときにどういう考え方でっていうのは、
0:37:24	おっしゃっていただいている通りだと思っていてここでは2章でピックアップしようと思ったのは前回までだと。
0:37:29	3章ですかね3.2とか3.3ぐらいできんか変更点とヒライポットと出てきたものが、やはりちょっと位置付け的には説明すべき項目としてやっぱりピックアップする必要があるということも考えまして、
0:37:43	2章の中でそこをちゃんと網羅的に抽出しているんだと、いうことの方角も含めて、宣言する必要があるかなというふうに思っていました。はい。
0:37:52	規制庁補足です。
0:37:55	とりあえず2章の資料1の説明の中、
0:38:00	各条文、
0:38:03	の要求事項と並んで既認可からの変更点と、
0:38:08	いうことを、整理をするということでもとめられているっていうことでもいいですかね。
0:38:15	はい。二本木ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。
0:38:20	はい。規制庁コサクです。わかりました。そうしますと今お話したように各条文の要求事項は資料に飛ばして済むもの。
0:38:32	既認可の変更点を飛ばす先がないので、その部分で、何を書くかっていうことの方針をちゃんと述べてもらいたいと。
0:38:42	いう古藤はお伝えをしておきますので、少し吟味しておいていただければと。
0:38:49	それで水曜日の提示にしていいただければと思います。実際にどっアノす十分かどうかっていうのは、水曜の資料を見て、またお話できればと。
0:38:59	ています。
0:39:04	はい。日本原燃石田でございます。はい。承知いたしました。
0:39:08	規制庁コサクです。横軸はそれ以外はなくてよかったんですけど。
0:39:16	はい。日本原燃石原でございます横軸は、以前box時に、ないものまでなんで書いてるのって言いながら項目を圧縮したりしていた
0:39:26	評価の視点、
0:39:29	解析評価の視点での評価指標を変えたとかですねそういったものも、もともとは入れようと思ってたところですけどそれも、

0:39:39	果たしてどっかが出てくるのかって急にいきなりぽっと出てくるわけじゃないので何、何とのリンクでそれを出すの必要があると考えたのかっていうところをちゃんと書けないと、パッと出てくるものじゃないなというところでもそこも考えなきゃいけないと思ってまして、今現状書いてあるのは、
0:39:55	金融界の変更点で構造なんかとか材料を変えたものか、評価の視点で評価方法とか評価のパラメーターからをいじったものというのが、
0:40:06	変更点として挙げられて後は条文の項目出てくるという感じで、横軸は書いてました。
0:40:14	規制庁コサクですその意味では県民からの変更点の枠に入っているっていうことで、大きくは二つであって、県にかかる変更点をちゃんと抜け漏れがないように、
0:40:25	整理をしていきますっていうことでいいですかね。
0:40:29	はい。弓削イシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。
0:40:35	規制庁コサクですわ。わかりました。そうしたら、
0:40:46	あとは
0:40:48	評価の関係。
0:40:51	なんですけど、
0:40:53	現状だと、この1ページの、
0:40:58	真ん中ほどに、2-1って書いてあるところの上に、評価のことも書いてあってですね。
0:41:06	ええ。
0:41:09	なんですけどこの行って、
0:41:12	資料1のこと言ってるのか2のこと言ってるのか3のこと言ってるのかがいまいちよくわかんないんですけど、文章的には資料2のこと言ってるのかなあと思いつつ、
0:41:22	展開するもの仕分けるっていうのがどういうことなのかがわからなかったりっていうのでちょっと解読できなかつたんですけど、説明していただけますか。
0:41:31	はい。弓削西原でございます。はい。おっしゃっていてね、この最後、
0:41:37	構造設計等を踏まえた評価と評価のみで展開するものを仕分けと書いてあるところだと思いますがこれそうですね資料2のことをもともと考えて書き換えてたものです。

0:41:48	とは言えそうだね聞いてないところもあるのも実態だと思っますもともと資料 2 で基本設計方針 2 であつたりの要求事項、説明すべき項目を踏まえて、
0:42:00	システム設計とかの設計項目を仕分けをすると、その評価と出てくるものには、構造設計、
0:42:09	設計したものを評価で確認をするというものと、要求事項そのものが、評価要件みたいな評価をするというものがありますよということを単に、そういうものをしっかりと抜け漏れなくピックアップするんだということが、言いたかったというところですよ。はい。
0:42:26	と規制庁コサクです。ちょっとイメージがわからないんですけど。
0:42:32	先に、その次のポツの話をした方がいいかなと思ったので一旦そちらの方の話に出るとですね。
0:42:39	ここは資料 3 の話をしたいってことでいいですか。
0:42:46	はい。与儀 0 社でございます。はい。ここは、次のポツバー資料 2 であり資料 3 でありという中途半端な記載になってしまいました。はい。
0:43:01	規制庁コサクです。それで言うとますますなるんですけど、関係性を示すっていうのを、どこでどう関係性示すつもりなんだっていうことを、
0:43:12	聞きたかったんですけど。
0:43:15	す。それは資料 2 でも隠し資料 3 でも書く書き方がちょっとそれぞれ、
0:43:22	違いますけどっていうことですかね。
0:43:24	はい。日本イシハラでございます。はい。書き方の深さというんですかねそこが若干資料に資料 3 で、ペースは違いますが、
0:43:34	それぞれの設計構造設計等の設計項目と評価の繋がリインとアウトの関係みたいなのが、資料 2 の資料 3 でも展開をしようと思ってました。
0:43:47	規制庁コサクです。それで言うとですね先ほどのこの資料での構成というのと一緒なんですけど、
0:43:53	資料 2 で書いたものっていうのを、資料 3 で丸ごとまた受ける必要もなくて、その部隊が書いてあればいいっていうこともありますので、
0:44:07	等、
0:44:08	もうそれぞれの役割としてどう変えていくかってのはやはり具体的に示さないと、それぞれの作業に展開できないんじゃないのかなっていうのが、今聞いて思うところですよ。
0:44:18	国井、この文章だと 2 行目のところの真ん中より後ろで評価を対象として書いてあつて、
0:44:29	資料 3 では評価を対象にしないはずなのに、

0:44:33	こう書かれていると、資料 2 であれば当然資料 2 の中の方針の中には評価もあると。
0:44:40	ということなんですけど、
0:44:46	資料 2 であればその分類をしていく。
0:44:49	資料 3 で対応するものなんか資料 4 で対応するものかっていうのを、
0:44:53	何て明示するっていうのがその前の項目になるのかなと思っているんですけど。
0:44:59	それを踏まえて資料 3 ではどうします資料 4 ではどうしますってのやっぱり違うので、
0:45:05	その点を整理してもらえればと思います。
0:45:08	衛藤。
0:45:12	とその点では
0:45:15	第 3 章 d、
0:45:19	第 2 章でどう、その分類、
0:45:23	説明すべき設計項目というのをどう分類する。
0:45:26	とかっていう注意事項にもなるでしょうし、
0:45:29	資料 3 資料 4 で書くというところでの注意事項からすれば 3 章 4 章で記載することと、
0:45:35	いうことだと思うんで、その点で配慮して書いていただければと思いますけど大丈夫でしょうか。
0:45:44	はい。人間ネシアでございます。はい。おっしゃっていただいたように資料 2 での目的と、それを受けて資料 3 で具体を展開していくといったような位置付け、あと資料 4 に預けると。
0:45:58	ということとの関係ってのがあると思ってますので、そういうところをしっかりと書き分けてそれぞれの目的と、
0:46:04	何をどう、その資料変えていくのかということの方針を、
0:46:09	しっかりと展開できればと思います。全体の資料 2 でのピックアップは 2 章でありますけどもそれでの紐づけてのは、
0:46:19	3 章であったり要所であったりどうひもづけていくのかっていうところも含めて、
0:46:23	展開をするように、整理をしていきたいと思いますはい。
0:46:28	はい。補足ですよろしく申し上げます。そこまで来るとですね、まず本文の 2 章 3 章 4 章で書いていただくということではありつつも、

0:46:38	具体どうなんのってなると、参考資料の当該部分で、何らか見えてくるのかなっていうことで、参考資料としての意味合いも出てくると思ってるんですけど。
0:46:51	どこまで作業できそうでしょうか。
0:47:04	はい、宮城西浦でございます。はい。
0:47:08	頑張りますとしか言いようがないんですけど。はい。参考資料自体での制度も含めて
0:47:18	そうですね。
0:47:20	それぞれの資料館でどういうことを書かなきゃいけないかっていうのも含めて整理をしていくつもりではいましたので、
0:47:31	なるべく具体的なものも含めて、示せるようにしていきたいと思っておりますはい。
0:47:38	はい。不足です可能な範囲で作業していただいて、
0:47:45	といっても、
0:47:47	実務がそのあと続くことを考えるとやらないと、各作業に展開できないような気がするので、
0:47:53	はい。よろしく申し上げます。すいません。規制庁丹治です。一点だけ。
0:47:58	金曜日って今ナリタそうとしてましたっけ。共通住民の本部会本分等を参考後は、参考の中におそらく最初に設計説明ぶりの
0:48:10	話とか、等、
0:48:12	すごい今選ばれてるな、おかしいと思う。
0:48:18	ちょっと最初の結局SAの話はどうやって資料に資料3、特に資料にです、展開していくんだってイメージがないと話が進まないよねっていう話もあったので、そこを参考でつけたいと。
0:48:34	私は思っていました、何かすごい目でみんな見られてます。はい。
0:48:39	あって、製造本部固めましょうねと変わってないですよってしまう。
0:48:45	設定。
0:48:47	違います。で共通中に飛ばした体制が不十分な話とか、もうまじってくるのかなみたいなことです。わかりました、すみませんありがとうございます。頭の整理でした。規制庁コサクですそれで言うんですけどね睨んでるかたにも発言いただきたいんですけど。
0:49:02	参考資料ワーか、ものの確定版を書くというよりは、記載方針を整理をする場所であって、
0:49:13	内容じゃないのあくまで1例を書けばいいということだから、
0:49:19	そもそも、

0:49:20	今、ものをイメージ持ってないと、作業指示できないんじゃないかねえのと、指示してるんでしょって感じなんですけど。
0:49:29	どうなってんですか。
0:49:34	石黒さん、誰。
0:49:38	HAと審査、今、石原さんの指示で、車で動いてるアノシミズと思います
0:49:44	おっしゃる通り、参考資料はつくり方のイメージを作るものだというところは理解をしつつ、ちょっと今分類の話とちょっとあわせて今作業したのでちょっと今、作業が、すみません、私のウエマツで流れたところでした。
0:50:02	と、
0:50:03	規制庁コサクですごめんなさい。
0:50:07	清水さん。
0:50:08	わあ、
0:50:10	共通 12 本分参考資料の作業をしてる方ってことでいいんだよね。
0:50:17	はい。清水です。衛藤。はい。参考資料の今、ウエイトDの範囲とこの36条と基準ないかっていうイメージのところですよ。
0:50:29	規制庁コサクです。すみません、DBSAの方の政治作業の担当者と、
0:50:34	ということで、そうするとごめんなさい、何で手一杯でって言われたんですか。
0:50:42	日本原燃志水です。並行して再処理の分類の話も、今までのご指摘、いろいろご意見いただいた内容を踏まえまして、
0:50:52	こちらの方もちょっと並行して作業してたもので、ちょっと自分の中でうまくあの仕事納めてないというところでした。
0:51:00	規制庁コサクですけど、
0:51:03	清水さんのその作業はSteeringチーム誰の指示のもとですか。
0:51:11	はい、日本原電車です。私ですはい。
0:51:14	規制庁コサクですイシハラさんですね。そうするとー。
0:51:18	再処理設計説明分類の整理、
0:51:23	等、
0:51:24	要求事項の整理、
0:51:28	要求事項の整理の中に、DBという性の同一性ということがあってと。
0:51:34	ということなんですけど。
0:51:36	それをどう足すくうとして整理していくかと言っているときに、
0:51:42	全部清水さんっていうと多分無理だというのが今の清水さんの悲鳴だと思うんですけど。



0:51:48	どういう作業の進め方になってるんでしょう。
0:51:56	はい。与儀ニシダでございます。はい。
0:52:00	あまりうまく進んでいないのに季節、もともとからいきますと、再処理の設計説明分類の骨格になる部分を検討するタスク等、
0:52:14	以前、今後の進め方で出しましたけど、SAの中で言うDBとSAの整理をしなきゃいけない、タスク
0:52:23	分けて、全社をシミズの方のチームで校舎を
0:52:28	これ、
0:52:30	同じ組織で上下関係がないんですけどセガワのタスクとして整理をして預けてやりましたとはいえ、これ二つに分けてやったとしても、結局、
0:52:40	それぞれに走ってもあまり意味がなくて、
0:52:43	全体と統一的な考えでやらないと意味がないんだという気になって、シミズのところにタスクを預けてまとめて、
0:52:51	それでも結局うまくいかなかったんで、
0:52:55	MOX側で全部引き取りますっていう、私が全部回収した形に今ほとんどなっているところです。はい。それであまりうまくいってないのは実態です。はい。
0:53:06	規制庁コサクです。そうですね。
0:53:15	全体として、考え方が整合しなきゃいけないっていうのわあ、そうなんですけど、かといって作業を集約するというだけでもなくてですね。
0:53:26	体育館に集まっている人それぞれが———、自分のタスクが誰とどう、誰の何人と関係してくるのかということをしっかり把握し、
0:53:36	コミュニケーションをとりながらやっていけば、ということだと思っていました。
0:53:42	その点でわ—セガワさんと清水さんが話をし、その話をして調整しているさまをイシハラさんが把握をしているってそこで
0:53:52	認識のずれがないと、というようなことを見る、或いはずれていれば、それぞれにこういう方向でやらないかという話をする、それぞれというか3人で話をするというか、
0:54:03	いうことでやっていけばいいと思っていたんですけどそれでは回らないんでしょうか。
0:54:14	はい。弓削ニシダでございます。はい。仕事の進め方をおっしゃっていただいている通りだと思います。はい。あれですね、一つは、
0:54:25	私がいびれをふやすのが早いんでしょうね。かつ、自分でやってしまうところがよくないんだと思うので、

0:54:36	なんでしょう、管理をする立場としてタスクを決めて目的を決めて、どういうふうにやればいいのかという話をした上で、それぞれのアウトプットの状況を見ながら、
0:54:48	話を進めていくと、いうことを、腰を据えて気長にやる必要があるんだろうなと思いながらもなかなか、すみません、その行きに行かず、結局しびれを切らして自分で手を出すと。
0:55:02	いうおかしなところに今なってるのが実態だと思ってますので、体育館に集まって、近くいうのはおっしゃる通りです。私もシミズセガワ透析
0:55:13	は近いっていか私さっきいっぱいあるんでいろんなところ回ってますんで、話を繋がるってのやってますのであとは、
0:55:21	私の何でしょう、を長くするというのか、しっかりとマネジメントするってところが辺りでないところかなという認識は今してます。
0:55:30	規制庁コサクです。日を長くというよりは先週、面談なりヒアリングでもお伝えしてますけど、作業方針を最初にちゃんと担当者と認識を合わせると、
0:55:43	いうことが一足りてないんじゃないかなと思う。
0:55:48	でて、
0:55:50	それをやった上で実務が本当にその通りになってるのかっていうフォローは、
0:55:56	気長に持つというよりは適時見ていくということであってと。
0:56:01	いうので、
0:56:03	もうその意味では、丁寧さが足りないってということ。
0:56:06	ですかね。
0:56:12	はい。日本原燃石田でございます。そうですね。はい。
0:56:19	なんでしょうかね、N-Sなんですかね。
0:56:24	ある意味、
0:56:26	同じことができるだろうとふうに思ってるところもあるのかもしれない。
0:56:32	府令が、
0:56:34	できてればこんなことになるなんてないでしょうし、そこも含めて、し、
0:56:40	6項の部分を理解した上での、丁寧さっていうのが必要なんだなということだと思います。はい。
0:56:47	はい。規制庁コサクです。その意味では、同じことができないっていうのは、作業イメージなり、作業方法なりっていうのを伝えたつもりになってるけど相手はキャッチできていないということ。
0:57:01	なんだろうと思います。そこら辺を、

0:57:07	蔦
0:57:09	きれってないって言うところと言えば説明側だけじゃなくてですね、受ける側もわかんないならわからないでちゃんと聞くと、
0:57:16	というようなこともあると思いますし、その上で、先ほど言ったように、やってみたところはずれがあったらそこでまた是正をすると。
0:57:25	いうタイミングを早く取って、なるべくそのちゃんと認識してるねっていう、
0:57:30	ところを掴んでいくということだと思いますので、
0:57:35	コミュニケーションをしっかりとっていただければと思います。
0:57:42	それで
0:57:45	と話を戻すとですねえ。ええ。
0:57:53	DBSA、
0:57:55	どちらかというところまずSANO36条ということから、
0:58:01	ハザード系をどう整理をし、その方針をどう変えていくか。
0:58:07	それをどこでそのDBと同じかどうかというのを、
0:58:11	整理をするか。
0:58:17	同じものは
0:58:18	同じとしてDB側の条文の資料2に預けるっていうことかと思ってましたけどそれはそれでいいんですよね。
0:58:28	はい、柳下でございますはい。それは、その通りだと思います。ただ同じであるってことをちゃんと
0:58:35	発信する側で提言した上で預けるということだと思ってました。
0:58:39	はい。古作です、発信する側はそういうことを分析してっていうことでいいんですけど。
0:58:47	受入れる側の方が受けてますよっていうのは何か書くんですか、書かなくていいんですか。
0:58:55	はい、イノウエのイシダでございます。はい資料2の段階でハシモトと受け側両方で発生する場合は条件が一緒なのでこのorササキアノズキますやられた側は、
0:59:09	ここで書いてることっていうのは、
0:59:12	多分その左側にいる人と、その他から飛んできた人を両方受け持った上での設計としての説明ですということを書く必要があるというふうに認識をしています。
0:59:22	なので受けた側も受けたということをちゃんと制限するっていうことで書こうと思ってました。

0:59:29	規制庁コサクですわかりました。その意味だと 36 条要求を、この枠で対応します。
0:59:35	で、内容は同等でっていうことがわかるようにということと理解をしました。で、一方で次に言うと方法なりは一緒だけど条件が違うよ。
0:59:46	なり追加があるよと。
0:59:48	いうものについては受け側はS、SA36 条要求も含みます。その際、その対応については、プラスこういう対応をとりますっていうことが書かれるってことでいいですかね。
1:00:01	はい。宮城李者でございます。はいおっしゃっていただいたイメージでした。これも多分イメージをうまく伝えられてないかもしれないんで、この場で聞きたいと思ってますけど。
1:00:13	発信すれば条件が違うんだって言えば条件が違うことを書くと、結果は衛星のところからこういう条件の違いのものも含めて受けると。違いの部分ってのは僕を考慮していくんだと。
1:00:26	いうこともオカということで考えてました。
1:00:29	はい。補足です。そういうのをイメージとして書くのが、参考資料だと思っていて、
1:00:36	それが 1 回帰って見させればあってるかってなんかすぐわかるんですよ。
1:00:43	そこで会っていけば、じゃあこれで各場を作ってみてということで作業指示ができるという流れだと思うんです。
1:00:53	サッと作って、水曜日提出っていうことで大丈夫ですか。
1:00:58	1 例でいいので、
1:01:02	はい、宮城西原でございます。はい。承知いたしました。
1:01:10	規制庁た設計だけなんですけど、費用市に於いて、
1:01:16	Dの方の側の辞書って、ある程度辞書ゴトウのイメージで見たような気がするけどSAの方で 36 条のところだけに丸がついて、
1:01:26	今でも実際、外にいれば中にあるかだけの差分ぐらいしかないからあんまり意味はないでいいですかね。
1:01:33	なければいいと思う。
1:01:35	規制庁コサクです。
1:01:41	タジリが行ったところでいうと設計説明分類。
1:01:46	を考えていったときに、どこに丸がつくかってそのマルがつくから、この分類でいいよねっていう話が見えるところ。
1:01:56	36 条にただ 0 ってなっちゃうと、

1:02:00	竜巻防護に回せたほうがいいのか、溢水防護にまぜたほうがいいのかっていうのがわかりませんよねっていうことになっちゃうので、36条の枠の説明すべき事項って、
1:02:11	どういう内訳で書くつもりですかっていうことかなと思うんですけど、どうなってます。
1:02:18	はい。日本原燃志田でございます。そこは正しく資料一井出野、芦沢設計説明分類を決めるのに、資料2でいう要求事項との関係まで、
1:02:33	踏まえた上での整理が必要かということで考えてました。おっしゃっていただいて36度イダ丸がただけなんですけどナカ美濃アノ資料に来れば基本設計方針が展開されて、
1:02:46	外部衝撃として外部からの外部事象としてこういうものを考慮して健全性を損なわない設計とするとか、周辺環境としての考慮として溢水や火災から機能喪失しないとかですね。
1:03:00	そういう設計として考慮すべき事項が出てきますので、そこも踏まえた上での、設計として説明すべき項目を踏まえて、設計説明分類側で展開をすると。
1:03:12	それが、DBSA、前回、分けるわけないグジャグジャしてましたが分けて説明するようなことではなくて同じような分類額に収めて、
1:03:25	資料2で展開できるとなれば設計説明分類上も当然、あまり分けなくてもいいですし、っていうことで整理していければなと思ってました。はい。
1:03:35	規制庁コサクです。綿C。
1:03:40	の質問の手前側のことで答弁をされたので、
1:03:45	現状まだ、36条の細分カーした設計すべき項目は抽出なり整理はできてないってことですかね。
1:04:00	はい。日本原燃石田でございます。ちょっとかなり中途半端になってしまってるかもしれませんが前回8月8日ですかねヒアリング出したのリストをうまく整理をして設計として説明すべき事項ってのを、
1:04:16	抽出できればなということで、丸付けをしてましたので、あれをもとに、さらに中身をちょっと意味しながら、
1:04:26	やる必要があるかなとも思ってましたが、はい。
1:04:31	4月4日、
1:04:43	石原さんすいません。
1:04:46	何時定数のどの資料かを、
1:04:50	お話いただきます。
1:04:54	少々お待ちください。

1:04:56	7日提出の受重大事故に係る設計基準とあわせてってやつですか。
1:05:03	いえ、4日提出の設計説明分類の後に、エクセルの表は、
1:05:13	ちょっとこれも見せてあるのかっていう大きさでしたけど、
1:05:16	ついていて、ここで何ページ5だっけな。
1:05:21	16ページ以降ですかね、これもうちよつと横の横軸の分類がかなりメッシュが細か過ぎたんであれですけど、ここ36条をも含めた、緑で書いているのが、セガワで出てくる要求事項で、
1:05:40	石原さんすいません、ごめんなさい。はい。4日提出の何の資料12に係る対応。
1:05:48	はい再処理施設の設計説明ぶりの徹底等についてっていうタイトルだったと思いますはい。
1:05:56	再処理施設の設計説明分類の設定等についての資料の17ページですか、26ページを見ていただくとそれ以降に表がついてると思うんですけども、
1:06:11	はい。
1:06:13	これ16ページ、耐震が一部ありますけど、竜巻とかに来ると8条と36条の
1:06:24	要求事項36条が緑
1:06:27	これも多分具体の設計にブレイクかなりしちゃってるんで
1:06:33	本当の要求事項として考慮すべき事項、基本設計方針とひもづけがうまくできないメッシュになっちゃってるのでこれがいまいち、
1:06:42	吟味しきれないなと思って、とは言いながら出してしまったんですけど、この緑のやつが、まさしく36条から分解をされてそれぞれ飛んでいくものだと思ってました。
1:06:54	これとの関係でそれぞれの
1:07:00	Dがって言い方がよくないですね、事象として見ていくハザードでの要求事項を
1:07:08	どういうふうに、病院として見ていくかというところを整理できればなと思ってました。規制庁コサクです。
1:07:15	これわあ、縦軸が条文なのでどちらかというと資料2のパターンの書き、
1:07:24	方ですけど、
1:07:26	これを縦横逆転させてみれば、資料1のイメージになると。
1:07:32	ということで、36条対応として枠を作るのではなくて、36条は、関連するD条文のところにもう溶け込ませます。

1:07:43	それで資料1を作りますっていう作業方針と思えばいいですか。
1:07:52	はい、日本インダでございます。はい。そこがですね資料1 資料2にどう展開するかってところも含めて金利が今ひとつできてなかったまま作っちゃったのが私の方針の展開が甘かったんですかねってところですね。
1:08:07	資料1を合体させてやるつもりはもともとなくてですね資料1条はちゃんと条文ごとに要求事項をピックアップするという意味では、必要なことは分けてやるべきだと思ってます。
1:08:19	どちらかというこれは資料2D、それぞれ別々に出てくるものがどこでどうジョイントして同じようなことを言ってるかっていうのを見える化したかったっていうのがもともとの目的でした。
1:08:34	規制庁コサクです。このときの思いはそうなのは構わないんですけど、
1:08:39	先ほど田尻が言ったようにですね、資料1で、36条細分化するのか、或いは整理をした上で東京に来ますのかと。
1:08:49	いうことをしないと、36条まとめて丸って言われたのでは、
1:08:54	SAをちゃんと類型それでいいよ。なぜならっていうことの説明にならなくてですね。
1:09:01	そもそもその丸がこうだから、累計ここでいいですよって話を、
1:09:06	するのに、
1:09:08	インプットがちゃんと書かれてないじゃないかってことになっちゃう。
1:09:12	ですよ。
1:09:17	なので、どっちにしますっていうことでしかないんですけど、
1:09:23	はい、女人者でございますはい。おっしゃっていただいているのでいくと36条の要求、
1:09:31	環境条件、
1:09:35	とかあとワーあれですよ。位置的分散とか
1:09:41	工数容量とかいろいろありますけどそれぞれに対して、特に環境条件のところはさらに、同じ分類で説明できるよねっていうのを最終的に今、
1:09:52	やろうかなと考えてますので、それができる根拠として外的事象内的事象に対する考慮みたいのが、その中で要求事項としてあると。
1:10:03	いうのもわかるように、資料1の中でブレークをしてそれぞれに丸がついた上で、どこどこをジョイントするかというこの紐付けまでいくというイメージで今認識をしましたが、合ってますか。
1:10:17	規制庁コサクです。
1:10:22	ごめんなさい、ちょっと解読できなかったのも、

1:10:26	36条のところを細分化するという方向なのか。
1:10:30	DBの条文のそれぞれのところにばらけさせるのか、っていうのはどっちですか。
1:10:38	はい、宮城ニシダでございます。今私が説明したらすみません36条細分化する方でした。
1:10:44	規制庁補足です。
1:10:48	それでもいいんですけど横軸が大分広がるなっていうことが、
1:10:53	あって細分化にもほどほどにねっていうことになるんですけど。
1:11:00	ほどほどニツタいうところのイメージがまた合わないと、よくなくて、少なくとも累計として分かれる個数分は必要になるっていうのはまあしょうがないことなんですけど。
1:11:13	それ以上分けても結局同じところに丸がついてるだけじゃんっていうことになったりなので、
1:11:19	その点は注意してだとは思いますが。
1:11:23	けど、
1:11:25	どっちがいいかな。
1:11:28	そうですねにおけるイシダでございますとは言えおっしゃっていただいたようですね。
1:11:33	ハザードに対して構造設計をしないといけないっていう視点からすると、結局、
1:11:40	八十七、八十で、構造設計も含めた説明をすとなれば、
1:11:47	基準等竜巻とか今メッシュ細かくしてますけどそこにそれぞれ丸が打ってあった方が、分類として合わせて同じような御説明するんだよねという説明に繋がるので、その方が、
1:11:59	おっしゃっていただいているイメージからするとわかりやすいかなと今認識をしました。はい。ちょっとそのも含めて、整理を進めます。
1:12:08	規制庁の古作ですわかりませんそうすると溶け込みバージョンで、この4日提出資料のやつ縦横、安定した形。
1:12:20	基礎として当然その時の縦軸は設備リストなるんですけど、
1:12:25	そういう形で作業されるというので理解を
1:12:28	しました。大丈夫ですか。
1:12:34	コサクですわかりましたでそうするとー。
1:12:41	その横軸になって、SAが溶け込んでいる場所っていうところが、先ほど言ったように資料になれば、そのまま、



1:12:51	展開されるものなのか、追加要件があるのかといったようなことがわかって、見ていく。それがどれなのかっていうのが、また資料1でわかっていく。
1:13:03	ということかと理解をしました。そうすると、
1:13:08	ラインか。
1:13:09	DなのかSAなのかも
1:13:12	欄があるからそれでわかると。
1:13:15	ことなので、問題はないことを理解しました。
1:13:25	そしたら、
1:13:28	本文関係の資料1 任意関係まで、具体的な2章までということで、確認しておきたいこと他にありましたらお願いします。
1:13:58	規制庁コサクです。ですかね。そしたら資料3の関係と、
1:14:03	ということ。
1:14:05	ですけど、
1:14:11	あ、すみません資料3の関係になるのか資料に戻ってきちゃうのかちょっとよくわかんないんですが、
1:14:18	今の2-1って書いてるの次のポツで、構造等の類型類似性を踏まえ代表する分類を設定と。
1:14:29	ということ。
1:14:30	だったり、その次の表に行く等、代表の考え方を整理をするということ。
1:14:37	差分について、
1:14:40	類分類での差分分。
1:14:43	その内数での設備での多分分と、
1:14:46	いったことについて対応していきますと、ということなんですけど。
1:14:51	衛藤。
1:14:52	これわあ、資料3ですかっていうところがいくつかあって、
1:14:57	設備内で累計な内数での設備のナカ差分があるっていうのは、資料3なのかなと思いつつ、
1:15:07	分類間での差分っていうことだったり、代表性っていうことからすると、
1:15:14	資料2のところ丸三角とかってそもそももうついてませんでしたっけっていう気がしていて、
1:15:21	資料2でやることですが資料3でやることですかっていうのがよくわかんないんですけど、どういう整理でしょうか。

1:15:29	はい。ネシアでございますはい。この代表の話をまとめて書き過ぎてしまっ、ごった煮なってますのでおっしゃっていただいた資料 2 では、設計説明分類、複数の設計説明分類が同じ要求事項に対して重なる場合に、
1:15:48	代表の話を書いて
1:15:53	代表以外と代表と、どう違いがあるのか、代表性の話を資料の中で展開をしていきます。
1:16:00	その差分の話については代表の資料 3 を展開する時に他の設計説明分類に差分があるのかないのかっていうのも含めて、展開を、を代表とした設計説明分類の資料 3 の中でやろうと思ってました。
1:16:17	プラス加えて設計説明部類内での設備同士の差分の話については、例えばグローブボックスで幾つかあるけども、代表で説明しつつ、
1:16:27	差分があればその差分というのも説明していくってのは資料 3 の話を変えてますので、ここもきっちり、それぞれの資料での役割と、代表についてどう展開をしていくのかという方針として、
1:16:40	書き分ける必要があるという認識です。
1:16:44	規制庁コサクです他ヤマシタそうすると、この文章の前半部分は、
1:16:49	基本資料 2 で対応して、
1:16:52	差分の具体ワーさんでしっかりと拾っていきますよと。
1:16:57	いうイメージですかね。
1:17:00	はい。弓削インダでございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていただいている通りでございますはい。
1:17:09	規制庁コサクです。わかりました。一方で、資料 2 の方もう、
1:17:14	分類間での違いみたいなところは、表の中でも注記で少し書かれるって言ったような気もしますが、
1:17:23	どうなってたんでしたっけ。
1:17:27	はい。与儀ニシダでございます。はい。代表として示したものがなぜ代表なのかっていうのと、それ以外のものがどういう立ち位置なのかっていうのをおっしゃっていただいている資料 2 の中でも、展開しないといけな
1:17:40	ここで資料に石堂さんでそれぞれ何を宣言するのは、整理をして示した上で作業につなげるというふうにしたいと思いますはい。
1:17:52	コサクですわかりました
1:17:55	そうですね。差分っていう言い方にはなってはしまうけど、

1:18:00	資料 2 で示すものっていうのは、それをちゃんと説明しますよっていうことだから代表。
1:18:09	ハートIIとして抽出すると。
1:18:12	いうふうなイメージでいた方がいいってこと。
1:18:15	でしたっけ。
1:18:19	はい、日本エリアでございますはい資料 2 でやるとするとおっしゃっていただいてどうですかねだ、代表パートツーが言うナガタ 1 パートツーの話に差分があるんでその分は、
1:18:29	こちらの設計説明分類で説明しないといけないよねってところがあったら、資料 2 の中で明らかにしないといけないと思います。はい。そういった設計説明分類として代表と代表の何ていうかパートツーとしてあげる必要がないぐらいの多分の場合は、
1:18:45	代表として設計説明分類の資料 3 の中で、こういった多分あるけども、代表として説明したもので大枠の構造設計については述べられ、伸び切ってますと。
1:18:55	いうことで済むのかなと思ってますそういった
1:18:58	成長があると思いますんでそこもどう書き分けていくかは、方針として、それで網羅性が確保できるんだということの説明を、これ、我々、私としてはやらなきゃいけないかなというふうには認識をしてました。はい。
1:19:12	規制庁コサクです。大体イメージつきましたのでそれが本文資料資料 2 だから、第 2 章のところでもわかり、
1:19:22	受けとしての第 3 章でもわかりというふうにしていただきつつ、参考資料でそれがどういうふうを示されるのかと。
1:19:31	ということがわかるようになってくるのかなと思う。
1:19:34	出ます。
1:19:36	規制庁の館です。ちょっとそれで検討頭の整理のためなんですけど、
1:19:41	前のヒアリングでも少し話タナカアノ小分類みたいなやつ。
1:19:45	ていうのと、ここで言う設計説明分類でこれの、普通の分類の方の話で、そのあと設備投資の詳細な差分の話があるんですけど、
1:19:55	小分類って結局残ってるんでしたっけ。
1:20:01	名前忘れたんですけど。
1:20:04	はい。乳井ギリシャでございます。小分類は、あまり分類額、消防の池谷ですけどね。グローボックス加工分ポートボックスフードを含むっていう分類中にも、基本設計方針によっては、その中で、

1:20:18	ここでって全部の人が相手になるわけではありませんっていう人が中にいたりするので、それを適合説明分類だったか何だかよくわかんない分類をつけて説明したあれはもうアノン。
1:20:31	忘れてください。
1:20:33	言っというんですけど、はい。
1:20:34	資料に出てくるあくまで設計説明分類。ただちょっと何て言うか内訳で、グローブボックスオープンポートボックス数量を含むというチームにも、
1:20:47	グローブボックスの話をする場合もあれば、オープンポートブックだけの話をする場合フードだけの話をする場合が出てくれば、設計説明文の右側に、項目としてその中で、こいつだけが対象ですっていうのを確か項目として資料 2 だよな。
1:21:03	資料の中で明示することはすると思いますそれはあくまで内訳の話ということだと思ってます。
1:21:09	はい。規制庁佐治です。なんで資料 2 の端っこコバヤシこの時点で個別に説明しなきゃいけない項目と見えるようになってて詳細を資料 3 で展開してもらった資料 3 で見れるようになってっていうことですかね。
1:21:22	はい。日本原燃志田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。わかりました。
1:21:35	規制庁コサクです。資料 3D、
1:21:40	ちょっとこの記載で、次、矢印の一つ目になるんですけど、
1:21:44	②③って書いてあるのの 1 図形
1:21:48	を明確になるようにって書いてるんですけど次に書いてある文章で、逆に不明確になったような気がしてですね、結局資料 2 資料 3 って何なのと。
1:21:59	有能なんですけど、
1:22:02	前回、
1:22:03	こういうつもりですかっていうそういうつもりでっていうふうに聞いてそれを文書化すればいいですねっていう感じだったと思ってたんですけど、この文章がその方向と違うような書き方になってて、
1:22:18	資料 3、③は金融課からの変更点として、改造のポイントなんかを見せるということだったと思うんですけど。
1:22:27	変えるのか変えないのかどっちですか。
1:22:35	はい、与儀西浦でございますはい
1:22:39	まず、変えない、変えたつもりもなかったです。はい。

1:22:44	そういう意味でそうですね 002 の中で、言いながら具体は③で言っているけど、ここでも矛盾しちゃってますもんね。はい。
1:22:55	おっしゃってた資料 3 の③脇委員からの変更点の変更とポイントを具体的に示すために起こします。それは、
1:23:05	そういった変更点っていうのを見、明示的にその舞台を示すっていうことをやるために②と合体させたわけわかんなくなるっていうところとかそのポイントが見えなくなってしまうので、
1:23:18	仕分けでやろうということで考えてました。はい。
1:23:21	規制庁コサクですそうするとこれ②と③逆ですよっていうこと。この文章だけで言えば、逆で書いてあるのはどちらかというイメージがあって、
1:23:33	なので、その辺り誤解がないように
1:23:38	第 3 章でしっかりとその構成として①、②、
1:23:44	丸井、構造の説明の部分で、①②③というのは何なのかと。
1:23:51	何でそういう順番で書くのかということがわかるように、文書化しておいていただければと思います。
1:23:59	はい、日本インダでございます承知いたしました。
1:24:09	規制庁コサクですってちょっと順番が逆転しちゃってあれですけどその上のポツ。
1:24:15	二つ目のポツですけど、
1:24:18	重大事故等対象設備に対するって書いてあるところなんですけど、
1:24:24	そもそもこれは重大事故等対処だけに限ることですか。
1:24:35	規制庁コサクですけどその趣旨は、
1:24:38	設計方針だけで具体の設備リストに上がってこないものについて、
1:24:43	資料 3 資料 4 で説明すべきことはないかっていう問いだと思ってたんですけど、これだと矮小化されたような気がするんですけどいかがでしょう。
1:24:52	はい、日本インダでございます。はい。まずもって、おっしゃる通りかと思えます書いておきながら恐縮ですが、その特殊設計的意見が、
1:25:02	SAだという思いで、会計はしましたけどSAに限ってやるということではないと認識をしますはい。
1:25:09	規制庁コサクです。よろしく申し上げます。その上で、
1:25:14	どういうふうに出出し、資料三、四に展開するのかというイメージがちょっとわからないんですけど。

1:25:21	そういった方針について、どういうふう2資料、多分2で、何らかそのピックアップする言い方をしていくんだと思うんですけど、どう整理をしていってるんでしょうか。
1:25:36	はい。乳井ニシウラでございますはい。ここわあ、はい。正直ちゃんとこれ私がまだイメージを示し形じゃないところなので、
1:25:47	思ってるところあるんですけどそれを具現化したいと思ってます。もっと言うところは資料2の中で、当然基本設計方針等の要求事項を、
1:25:57	見ながら、それぞれ設計を、としての項目を説明しなきゃいけないかっていうのを展開をします。
1:26:05	その時に、その設計方針を具体化するとき、運用的なものを資機材も含めた運用的なものを合わせ技でやらないといけないことがあれば、それをしっかりと書いていく。
1:26:20	いうことだと認識をしてます。そこは何でしょう、自分がやるとすると当然基本設計方針だけ見るんじゃなくて、
1:26:30	許可のときの整理資料も含めて全体見て、これはこうこうこういうことを達成するためには、資機材含めた運用のことも併せて達成するっていうことだったよねっていうことを考えながら、
1:26:43	その中で展開をするということをイメージして、考えてましたがそれをちゃんと伝えないと多分また抜けるかなと思ってました。はい。
1:26:52	古作です。
1:26:57	伝えるにはですね、方法までちゃんと提示しなきゃいけないくて、
1:27:02	それでいうと、この方針の書き方、
1:27:05	て言ってることとは逆行するんですけど、
1:27:09	具体としてどういうものになるのというので、
1:27:12	資料2の方針において、まず
1:27:19	設計項目っていうのをどうしますかというので、
1:27:23	現状だとバーになってたりします。
1:27:29	はい。宮城インダでございます。はい。運用要求だけが、もしフラグで作入居種別につく場合はバーになります。はい。
1:27:38	古作です。現状バーになってるけどみたいなところだとすると、いやそ0、何等カー設計上が配慮あるでしょって。
1:27:48	なって、例えば、構造、
1:27:53	であれば構造設計だったり、使えるようにこの位置に置くんですよねみたいな話だったら配置設計だったりと、
1:28:01	いうことでまずフラグを立てるっていうことですかね。

1:28:08	はい。乳井記者でございます。はい。まず、私が思ってたイメージを話しますと確かに運用要求みたいなもので、
1:28:19	資機材とかも含めた運用での保管が必要な設計っていうのは、運用要求だけが昇級種別で出てくるものと、
1:28:29	機能設計だと、機能要求だと言いながらその機能を達成するために、実際は資機材を期待をしているもの、例えばSAでいくと、
1:28:41	これは配置設計のこのシステム設計なのかな、火山の降灰に対して発電費を建屋の中に入れてへの対処します。
1:28:51	でもそんな時には屋外から入ってくる、ここ、降下火砕物がサトウ発電機に、
1:28:58	影響しないように、何らか、カーテンみたいなものをつけたり、そういうことをしますっていうとそれをセットで、多分達成するものだというとそのもとの、
1:29:09	出ている、発電機を使って必要な機能を達成しますと言ってる、いわゆる構造設計等加配設計だとかそういったものに資機材なんかが付随でついてくるという場合はその設計方針の中でちゃんとそういうことをうたっていかなきゃいけないと。
1:29:24	またもう1個が運用要求で単独で出てくるもの、これに何らか配置設計も含めて運用で資機材を置くときに、いくつか置くんだけと同時に死んじや駄目よと。
1:29:35	というような要求がある場合は、それは配置設計として運用要求でバーではなくて、何らかの設計要求をかけるものがあるという、タイプの的には2種類要るかなというふうに思っていました。
1:29:48	規制庁コサクです。今2種類って言われましたけど結局わあ、
1:29:54	基本、大枠としては運用要求なんだけど、関連する構造設計配置設計システム設計、
1:30:03	評価、
1:30:05	があれば、それはちゃんと項目出します。
1:30:09	で、どういう関連なのかっていうのを説明事項として、
1:30:14	記載します。
1:30:17	それによって、
1:30:18	資料3資料4で拾い上げることができます。資料3のシステム設計で拾うのか。
1:30:25	構造設計で拾うのかっていうことがわかるようになりますっていうことでもいいですか。

1:30:30	はい。乳井エリアでございますはい。おっしゃっていただいている通りかと思ひます。
1:30:35	規制庁コサクです。大枠のイメージは湧きました。その上で、そうすると
1:30:43	資料 1 にいくと、
1:30:49	細かく言えば横軸としてエントリーをされ、
1:30:53	それに対応するのがどこっていうと、
1:30:56	縦軸が設備リストなので、どこにも対応しない。
1:31:00	ていう感じに。
1:31:02	なるほど。
1:31:05	け。
1:31:06	と、方針としては丸がついていて、
1:31:10	設備例えば方針という枠が一つあるので、そこで丸がついて、
1:31:18	資料 3 資料 4 でもそういう形でピックアップされる。
1:31:23	ということですかね。
1:31:28	杉。
1:31:29	はい、弓削石原でございます。はい。私もしゃべりながら資料 1 までの配慮が欠けておりました。はい。
1:31:35	資料 1 をどう扱うかおっしゃっていただいたよりみ左側にいっても、設備はないけども何らか要求事項があるんだということがわかるように、
1:31:46	今だと多分施設共通基本法設計方針の中に紛れ込んでいる可能性もありますけどちょっとそんや何だか配慮が必要ですね、フラグが立っていないと受けられないところもあるので、はい。
1:31:59	ちょっと考えますはい。
1:32:01	はい。規制庁コサクです。資料 1 自体は何とかすれば、結局資料 3 資料にちゃんとパス出しをするというための、漏れないような紐づけをどうしていくかっていうふうなだけなので、
1:32:14	整理をして、
1:32:19	おそらく参考で見えるぐらいでもいいのかなっていう気もしますけど。
1:32:25	わかるようにしておいていただければと。
1:32:31	あ、規制庁の谷田、ちょっと頭の整理なんですけど、先ほど石原さんが、その整理イシイミヤマっていう話あったんですけど、一応、内容としては資料 2 イイダや廊下の本当に点数カラー、そういったものは見てくれるようになっていて、



1:32:46	それが最後まとまったもので、具体的にどうするかっていうところで経費をかけるっていうことを言われたんすかね次は整理資料でしか拾えないものが言ってもらおう等、広く面倒くさいなと思ったんですけど、
1:32:56	はい、日本イシダでございます。基本はおっしゃっていただいている本文添付で広いのが前提です。整理終了まとまっているので、それも含めて理解をすると、抜け漏れなく理解をするという点で、整理資料を
1:33:10	補完的な材料として使うというのが私がやるならそうするなって思ってたところでした。はい。
1:33:16	清翔太です。なんで。
1:33:17	資料 1 から来るから資料 2 から来る。
1:33:22	わかるようになっていて、
1:33:24	機材とかまぜ運用面は
1:33:28	したやつが、資料 1 でもちゃんと機能がついて見えるようになっていて、3 とか 4 に繋がってですね何となくわかって、ありがとうございます。
1:33:46	はい、与儀西田でございます。はい。ありがとうございます。そういう整理です。ちょっと我々も具体的な作業としての整理を進めますはい。
1:34:00	規制庁コサクです。
1:34:04	1 ページについてざっと見てったんですけど、ちょっとその点では 4 ページのところ言いそびれたことがあります、
1:34:14	江本に入ってる資料 1 の横軸っていう話に、
1:34:19	戻るんですけど、
1:34:23	既認可からの変更点。
1:34:25	ていうので、
1:34:30	よ各条文のっていうの時にかかる変更点っていうので二つで済みますって言われましたけど、その他変更っていうのはっていうことと、
1:34:40	阿藤。
1:34:46	NEATへ
1:34:52	DBSAは先ほど話をしたので、
1:34:56	拾ってくるのかなあという気もしますが、
1:35:01	横軸で書かなきゃいけないことを説明すべき項目として明示することっていう、
1:35:08	無理はないかというのを改めて、
1:35:10	教えてください。
1:35:17	はい。乳井ニシダでございます。はい。

1:35:21	おっしゃっていただいて、まず 2 ポツで最初に施設の説明すべき項目って言うてもアウトなんですけど、全体として説明すべき項目ってのをどうやって抽出するかここに抜けがあると、全部アウトなので、
1:35:36	ところのピックアップの仕方の整理かと思います。そういう意味でいくと、
1:35:42	新規制基準の大枠で変更を図ったものが条文でのマルつき後先ほどのSDでの共通的なやつを、溶け込ませて整理をするということは時にか変更点構造変更等をピックアップすると。
1:35:57	いうところに加えて、その他変更のところを、
1:36:01	大枠として書いてオカダイトウ、これもまた説明すべき項目の一つだと。ただこれも結局はどこにマルをしながら主たる説明項目が一体それなのかっていうと他で溶け込んでいる実際の、
1:36:15	ハザードに対する構造設計とかの方があって、最終的には分類的には一緒にいけるようになっていう判断になる西尾、対象に出すべきものに網羅性という意味でいくとないと、その他変更も入ってないと駄目かと思ってます述べましたので、そこも、
1:36:33	ピックアップしていきたいと思います。
1:36:35	あともともと入れていたあれですね。
1:36:40	教授清だとか阿藤栄一君の話だとかは条文要件の中で拾えると思ってますので、
1:36:49	大きく抜けてるとするとその変更が書いてないと全体がカバーできてないということになると、いうふうな認識をしました。はい。
1:36:58	議長コサクです。そう言っておきながらなんですけど。
1:37:02	その他変更も含めて、横軸として、条文変更ないものをピックアップすると。
1:37:10	いうことでしたよねまず。
1:37:13	はい、上田でございます結局、おっしゃっていただいているその他変更も整理した時に、大枠出しながらも、どここの条文の要求の説明に含まれてこれを徳田市でやる必要あるのかないのかっていう整理をして、
1:37:31	結局時込ませることができるよねっていう整理もしてましたところもあるので、ただそれがまだ資料 1 資料 2 の中でも、見える化できてない、どっかに抜けてしまってる可能性もあるので、
1:37:43	それを何らかのセイリガクの一つとして、どこかにつけるか溶け込ませるかだと思ってました。はい。
1:37:50	規制庁コサクです。ちょっと、
1:37:53	すいません私の質問から、伊原さんが先走った回答してるので、

1:37:58	ちょっと引き戻させていただいて、まず、
1:38:02	資料1の横軸として、
1:38:06	変更条文でない。
1:38:10	条文について、
1:38:13	再処理だと入れなくてもいいという選択肢はあり得るんだけど、
1:38:20	そんなことはしていなくて一通り上げているということでは良かったです。
1:38:26	はい、日本イシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。あと国家が感覚であっても、説明しなきゃいけないところは0になって、ちゃんと明示しているということではございます。はい。
1:38:39	はい。補足です。それはなぜかという、新設ものがあったりその他変更として説明するものがあるからってということですよ。
1:38:50	はい。宮城の石田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。
1:38:55	はい、古作です。
1:38:56	なので、その他変更として、
1:39:01	丸付けをしていくということではなくて、
1:39:04	その他変更なり新設のものは縦軸としてまずちゃんと入れてますよと。
1:39:09	というのがあり、
1:39:11	横軸についてはそういうのを踏まえて、全条文並べます。
1:39:16	で、説明すべきところはそのものについては0にします。
1:39:22	で、既設のもの変更なし条文のところはそこは0じゃなくて、
1:39:28	三角でしたっけですよ。
1:39:30	バージョン2か3。
1:39:31	対象の場合は三角ですね変更なしということで、っていうふうにしますということ
1:39:40	大本で言うそのAなのかBib通なのかっていったところ、脳での対応の違いっていうのを明示していきますということで、
1:39:49	そういう考え方を最初に述べれば、その他変更っていうのをしっかりと受けますっていうことを明示して書くことになるんじゃないですかね。
1:40:00	はい。宮城ニシダでございます。はい。説明すべき項目を網羅的に抽出するという意味では、
1:40:07	おっしゃっていただいている通りだと思いますはい。その考え方をしっかりと本部の中で示していくということかと思うんですが、

1:40:14	規制庁コサクです。わかりました。そうしていただくと、本文の方では、考えなきゃいけないことをこれまでA、B案BIIといったようなところでのポイントと、
1:40:24	いうのをしっかりと挙げていただいて、その上で、対応方針整理すると、資料1としてはこういうふうにとまとめれば、その辺りがちゃんと整理できますねと。
1:40:35	いうことで理解ができると思いますのでよろしくお願いします。
1:40:48	はい。宮城の石田でございます。はい。承知いたしました。
1:41:06	規制庁コサクです。そうし、
1:41:09	ただ、
1:41:13	1ページ目、本文事項という関係からは、
1:41:18	だいたいお話できたかなと思うんですけど、
1:41:23	次のページの1ポツ2の参考資料もうあらかた、関連でお話。
1:41:30	していたかとは思いますが、
1:41:33	追加で話をしておきたいことがある人がいれば、
1:41:52	大丈夫ですか。
1:41:57	規制庁コサクですここまで原燃から、
1:42:00	明後日の資料提示に向けて、心配事項とかがあれば、
1:42:06	お聞きしますが、何かありますか。
1:42:14	はい。宮城ニシダでございます。はい。だんだん、明後日が暗くなってきましたけど。はい。
1:42:20	はい。大丈夫です。はい。
1:42:24	規制庁コサクです。暗くなってきたというのを、
1:42:30	さらに追い打ちかけてもしょうがないんですけど、一応ここまで話してるのは、過去のヒアリングで言ったことで、ちゃんとキャッチできてなさそうっていうのを伝えてるだけで、
1:42:40	いきなり言ってるわけじゃないのでよろしくお願いします。
1:42:50	規制庁、加来です。
1:42:55	藤そうですね。
1:42:57	続いては資料1とか、細かな話になってしまうので、今言ってもしょうがないかな。
1:43:07	と思うところがありますけど、
1:43:11	なので細かいところでやっていただくとして大枠として気になってるところっていうのでお伝えしていければいいかなと。

1:43:21	てます。
1:43:31	まず、資料 1 について、これ前回とかでもお話ししたけど、
1:43:36	DBSA兼用のものについて、
1:43:40	矢印の二つ目ですけど、
1:43:43	主従の詳細は、仕様表にて記載することとするっていう、また共通 12 と違うことが書かれていて、
1:43:51	何のことだかわかんなくなってるんですけど、これ、
1:43:54	どういうことなんでしたっけっていうのを、ちょっと、
1:43:59	大本振替フリー絵を元に戻ってちょっと説明していただきたいんですけど。
1:44:05	前はその縦軸として、複数あげるみたいなことを言ったときがあっ、いや仕様表って一つですよねだったり、設備リストってまとめてませんでしたっけみたいな話があっ、
1:44:19	まとめますという話があったと思うんですけど。
1:44:23	一方
1:44:25	仕様表においても、
1:44:29	施設、設備区分が違うところに、SAがあっ、
1:44:35	その場合 2 そSAとして、
1:44:39	書きつつ、そっちの設備と兼用しますみたいにして書いてる場合もあつたんじゃないかなあと思うと、
1:44:47	そのあたりを表 1、資料 1 でどういうふうに表示して、SAはこっちの分のものですよって。
1:44:54	いうのはわかるんですけどっけみたいなところとかが、
1:45:00	もうあると思うので、そのDDSどういうふうな状況において、
1:45:05	なっているのか。
1:45:07	それに対して、資料 1 ではどう書くのかというのを、あらゆるパターンそれぞれ挙げながらどういうふうに明確になってますみたいなことを説明いただきたいんですけどどうなってますでしょうか。
1:45:27	はい。人間イシハラでございます。はい。
1:45:33	そうですねまずパターンとして
1:45:39	何て言えばいいんだろう。
1:45:41	同じものを指してる、
1:45:44	機能の要求がDBでもありSAでもある、例えば今回でいくと、MOXで換気設備ノダ区等は、

1:45:54	一般設備としてもともとDBの要求がありながら、SAとしては外部放出抑制設備としての機能も持ってますと、ただ、言ってることは周表情も換気設備のダクトに対して言っているのです、
1:46:09	仕様表は1個です。
1:46:13	その場合は、ただしある範囲が兼用の範囲ですっていう詳細を範囲として示せば、必要がある場合は、地表において、この区分の例えばだどこからどこまでがDBSA兼用ですと。
1:46:28	いう話で、決めしていくということで考えてました。
1:46:32	それ以外のパターンで何が、
1:46:40	成学社の場合はそうか、だからSs-Dでもともと主要な企業票対象じゃなくて、
1:46:47	清の場合はでも、DBの話買わない。
1:46:54	規制庁コサクです。MOX中心に考えるとわかりにくくて、
1:46:58	再処理の方を考えるとですね。
1:47:02	例えば、
1:47:06	水素掃気で水素掃気じゃない、計装配管から、
1:47:13	注水しますとなると、DBでは、計装に入っている。
1:47:20	けど、
1:47:23	SAでは、冷却に入っている。
1:47:27	ていうことがありえませんか。
1:47:33	両方とも本文だと。
1:47:38	はい、弓削西浦でございます。はい。おっしゃってた共通09ですかね集中の関係でパターンで、
1:47:46	計装配管みたいなものもおっしゃっていただいたりSAで水素掃気脳ための供給配管としてエントリーしますということで、
1:47:58	出てくるものただDB上は、主主設備主要設備ではなくて仕様表対象にもともとなっていないものがSAとして仕様表がまず立ち上がると。
1:48:09	いう整理のものもあるということは認識をしてください。
1:48:12	コサクですごめんなさい。
1:48:14	DBとして立ち上がってないものをSAとして立ち上がってるのを入れるだけなので、さほど問題ないんですけど、DBでも立ち上がってるものを違う区分でSA登録してるっていうのがあるはずと。
1:48:25	いうことは、
1:48:27	理解できてます。

1:48:33	はい、二宮でございます。はい。そういう意味でいくと、水計装配管のあんまりメインのものがあれだとすると冷却性の配管なんかおっしゃる通りですね。
1:48:45	もともとDB安全冷却水系の配管等で、内部ループの配管がいて、DSAでも、注水用の配管としてエントリーされるということで、両方で、
1:49:00	必要な設備としてエントリーされるということは、パターンとしてはおっしゃる通りであると思ってます。はい。
1:49:07	規制庁コサクです。
1:49:09	DBでも冷却SAの冷却は、
1:49:13	一応、
1:49:14	名称としては分けつつ、整理をしてるのでWっていう意味ではWじゃダブルなんですけどまだ良くて、
1:49:24	通常は悪送ってるけど、
1:49:27	冷却として水入れますっていう。
1:49:29	場所については、設備区分が大きく違ってくるというところだと思う。
1:49:35	ですね。
1:49:36	そういったところになる等、
1:49:38	現状の資料1の左の枠だと、主の方の設備区分でしか書いてなくてっていうことになると、
1:49:48	SAの区分どこのやつなんだっけ、SAとは書いてあるけどさーっていうふうに迷うんじゃないかなと思ったんですけど。
1:49:56	どう配慮されてます。
1:50:00	はい。握れシェアでございます。はい。まずう設備リスト資料1でもそうですが、
1:50:10	右側の設備区分に従って、確かに
1:50:15	ダブルで受けられるものを要求する機能が違ったりして接続盤が変わるものについては、主要の関係を示すところで県有床ですねそこで、
1:50:27	理由として関係するSAがある場合はその設備区分をそこに主従の中として、書くということ。市場が、瀬川氏の場合は当然性の部分と、
1:50:39	書かれるんだと思いますがそういう形で整理ができたと思ってました。はい。
1:50:44	規制庁コサクです。そうかなと思うんですけど、ここでの対象方針見ると、仕様表で示すだけになってて、書かなくなっちゃうように見えたので、ちょっと違くないですかっていうことなんですけど。

1:50:59	はい、乳井西浦でございますはいちょっとこの書き方すいませんへのとがうまくってか日本語が下手なんですねはい。主従の主と従の関係は書きますってことはちゃんと書いた上でここで書きたかった詳細は仕様表1で記載するのを
1:51:15	先ほど私が口頭で申し上げた、ある範囲を形容する場合の話を指標で展開しますよと。
1:51:25	いうことが言いたかったんだと思いながらも、かなりそこに寄りすぎて何を言ってるのかよくわからないという形になっているという認識でございます終了の形は抜けなく書くつもりでいました。はい。
1:51:39	規制庁コサクです。わかりました。
1:51:43	その辺り
1:51:48	どうなんですかね本文の。
1:51:51	2章で書くのか。
1:51:54	参考資料の方で、
1:51:57	例示してわかるようにしておくのか。
1:52:01	なんか微妙な感じではありますけど、作業で、
1:52:05	ばらつきが出ないように、しっかりと整理をしておいてください。
1:52:15	はい。弓削イシダでございます。はい。それぞれそうですね。
1:52:21	何を書く、書かなきゃいけないかがぶれないようにはい。適切な指示ができるように提示をさせていただきます。はい。
1:52:35	はい。規制庁コサクです阿藤。
1:52:37	矢印の一番下の耐震の話もうこれ、
1:52:42	前のヒアリングで言ったことと何か違うことが書かれてるかのようでよくわからないんですけど。
1:52:49	どうなんですかね。
1:52:51	亀井さん何か。
1:52:55	すいません。1個3、
1:53:09	えっとちゃコサクです。
1:53:12	この矢印の趣旨を、
1:53:14	口頭で説明いただけますか。
1:53:22	はい。日本語ニシウラでございます。はい。ここはもともと等、やりとりしたところと書いているので先ほどの
1:53:31	2-1 だったり飯野にもともと設計で説明すべき項目の洗い出しのところへどう整理するかってところをちゃんと軸を書いた上で、



1:53:42	個別の話にどう展開するかっていうところを押さえないといけないかなと思ってました。ここはあくまで前々回ですかねやりとりしてて、
1:53:50	キヌカワの変更点能表カーの方法とかを変えたところを、メッシュをすごい細かくいろんなことを書いていたところを資料 1 でここまで細かいポイントを全部書く必要があるのかってやりとりがあって、
1:54:05	大枠どういった視点が変更としてあり得るのかってところが抑えられれば、資料 1 としての目的は達成できるよねと。
1:54:15	細かい話は個別の補足の中で、お話をすればいいんじゃないかみたいなやりとりがあったところを書いたつもりでしたがとはいえ、これ先ほどの設計図として説明すべき項目っていうところで何を、
1:54:30	ピックアップして、同資料 1 資料 2 も含めて、設計分類につなげていかかというところの考え方をちゃんと置いてその中でいわゆる耐震の 1 項目でしかないの、その位置付けをどう考えるかと。
1:54:44	いうところで整理ができればと思ってます。はい。
1:54:48	規制庁コサクです。
1:54:50	よろしく願いますっていうのもこの文章の、
1:54:54	差分として審査するものなのかそれとも云々にとどめて、文章にそもそもなくなって、何が言いたかったっていう感じになっているんですけど。
1:55:06	変更点としては、ちゃんと一色示すようにしてもらわなきゃいけないので、止めても何もなくてっていうことだと思うんですね。
1:55:14	具体的にどう違うのみたいなことは、それはそれぞれで説明すればいい。
1:55:21	ということですけど、突然個別補足説明でもなくて、資料 3 資料 4 があるわけで、
1:55:30	その先に個別説明資料があるはずなんで、
1:55:34	そのあたりも含めて、
1:55:38	頭の整理はしつつ、本文、
1:55:41	なり、しっかりと書いていただければと思います。
1:55:46	はい、乳井西原でございます。はい。承知いたしました全体としてどうを示していくかと。
1:55:53	いう、整理を進めさせていただきます。はい。
1:55:59	規制庁神です。
1:56:01	ここを話したときは、MOXの場合は静的地震力も変わっちゃってますよね。そうなる、

1:56:08	数だけじゃなくて、SはそもそもSsも変わってるんだけど、BCとかも変わっちゃってるんだけど、
1:56:15	それだけ話を聞いてもねみたいな話が発生して書いてもらってるんだと思いますけど。
1:56:22	土肥先ほど石川さんの説明だとこれ資料1としての目的は云々みたいな話がありますが、
1:56:31	今その資料4みたいなものを作ってその評価物もカバーしようと。
1:56:37	いう。
1:56:38	時に本当にその経産省っていうものだけで判断して資料1の目的が達成できるのかっていうところはありませんから、いずれにしても何かあんまり、
1:56:49	この耐震一つをこうフォーカスして整理というよりは全体としてその変更事項をどう示すと読みやすいかっていうことだと思いますので、県、県、整理して、
1:57:02	言っても、
1:57:06	はい、弓削石田でございます。はい。ありがとうございます。周知いたしました。おっしゃっていただいたように、耐震にかなりクローズアップしているところはあまり意味がないとされていて、全体として、
1:57:22	キリンからの変更点を同数を押さえていけば、資料1から資料2資料3、必要であれば資料4ですけど当然繋がっていくかというところを、どう抑えていくかということだと思います。はい。
1:57:43	はい、規制庁不足です。資料1関係で確認しておきたいこと他にありません。
1:58:00	そしたら、次3ページ、1ポツ4で資料2ですけど、
1:58:06	資料2自体は大分本文側で話を、
1:58:11	したところろ。
1:58:16	上の文章は、
1:58:18	基本的に同じことが書かれてて、プラスで言えば個別補足説明の関係。
1:58:23	ということなので、
1:58:26	基本的にはこれまで話をしたことだと思いますから、
1:58:30	対応いただければ結構かと思えますし、矢印で書かれてるのは、
1:58:37	これは確かに細かなところっていうことが結構書かれて、
1:58:43	いる。
1:58:46	対応いただいて、見えるようになっていければ、

1:58:51	思いますけど、
1:58:54	代表性云々のところは本文で書いて、
1:58:59	もらってそれを受ければっていうことなんで、ちゃんと本文で書いてくださいねと。
1:59:04	ということかと思い
1:59:08	ます。
1:59:11	小個別で機器と来たことあれば、
1:59:16	お願いします。
1:59:26	では、続いて資料 3。
1:59:31	ですけども、
1:59:35	大枠がこれも 010203 っていうようなことだったり、
1:59:43	の整理は先ほど話したところなので、
1:59:48	それを踏まえてですけど、
1:59:53	等、
2:00:07	例えば
2:00:10	資料 3 の②で目次を添付するってということについては、
2:00:15	本文で書かれるんでしょうか。
2:00:25	はい。いうネシアでございます。はい。資料 2 から 3 への橋渡しの意味もあると思うので、
2:00:38	個人的には必要かなと思ってましたがじゃあどういふふうな目次が必要となるのかってところをちゃんと書かないと、ただ目次をつけますっていう意味にもいかないのでそこは整理が必要かなと思ってました。はい。
2:00:54	はい。補足です。ぜひ書いていただいてですね、目次をつけるっていうことを書くよりは、そもそも
2:01:04	何でも 9G が必要かといえばその並び順として、こういう順番で書きますよみたいなことの認識合わせってということだったと思うんですね。それを実際、
2:01:15	どう展開してるのかが一覧できるように目次をつけましょうということだったと思うので、そう言ったその記載方針っていうのを、
2:01:26	本文で書いて、それを目次として見えるようにしますってということなのかなと思ってたんですけど、そういったあたりは配慮してきてますか。
2:01:38	はい。日本イシダでございます。はい。もともとおっしゃっていただいたように目次が、

2:01:45	必要だと言うことを思い出したらもうバラバラと後ろに資料 3-012 がいて、これ一体どういうふうな説明をどういう順番でしようとしてるのかわかるのが、
2:01:57	個別具体でわかりづらいなというところまで全体の構成なり、説明順番というのをちゃんと目次として示す必要があるよねということにつけたと思ってますので、
2:02:10	そういう目的なりがちゃんとわかるように本文上は記載をするということで考えてました。
2:02:19	はい。補足です。よろしくお願いします。そのキーワードはこの対応方針の中にも書かれていると思いますので、本文整理をしていただければと思います。
2:02:54	規制庁コサクで 3 ページ、さらに 4 ページで再処理、
2:02:59	そして今挙げられているところでここまでの中で、きれてないなというようなことがあれば、
2:03:07	規制庁側か。
2:03:11	よろしくお願いします。
2:03:30	衛藤コサクです。例えば 4 ページ矢印ニイツ 5、6 個目。
2:03:38	屋外のアッセアクセスルート云々、分類を設定するってなってますけどこれどういう分類ですか。
2:03:56	はい。日本原燃瀬谷でございます。はい。
2:04:01	やりとりしたことを単純に書いただけなのであんまり書いてる文章に意味をなしてない気もしてます
2:04:08	はい。
2:04:10	いろんなハザードに対しての要求っていうのを、抜けなくやるということで、
2:04:20	今まで我々が説明してた生資料の中です、屋内は建物と一緒にアクセスルートを説明しないといけないっていうのを意思表示できてたんですけど、ことごとく屋外のアクセスルートが抜けてしまってたので、
2:04:33	そこをちゃんと抜け漏れなく、説明を考えるということを説明すべき項目の対象物としては、屋外のアクセスルートもいるんだという認識を持ってこれで設計説明分類を設定するというよりは、
2:04:47	そういうものが説明できるように抜け漏れなく説明できるように、提携説明ぶりの設計とか決定とか、説明グループの設定考え方とかを整理していくということかと認識をします。はい。
2:05:03	古作です。

2:05:06	そうですねこれまだそういう意味だと先ほどの資機材等のときに話をした方針で言われる、拾われてる部分をどう資料 3、4 に展開するかっていうことですかね。
2:05:20	はい。宮城ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいているかと思えます。久貝のアクセスルートは特にアクセスルート単品で何らかの要求といえればいろんな対処が確実に実施できるという時に、設備だけじゃなくてそれを
2:05:36	動かすための道だったりっていうのもちゃんと考えて、
2:05:40	設計を説明しないといけないっていうことを、認識して資料 2 からさ、だつたりの繋ぎも含めて展開しないといけないっていうことだと思ってます。はい。
2:05:53	古作です。その上
2:06:01	例えば先ほど言ったように共通方針みたいなところに丸をしてたとしてですよ。
2:06:06	です。
2:06:06	そうすると、結局はどの説明分類に合わせて説明するのかどの説明グループの時に説明するのかと。
2:06:15	いうことに、
2:06:16	なって、どっかにそれぞれ寄せていかなきゃいけないっていうことになるんですけど。
2:06:23	それは抜け漏れのないようにどっかで見えるようにしていただきつつ、
2:06:29	屋外のアクセスルートっていう関係からすると、通合わせて説明するつもりですか。
2:06:41	はい。議論イシダでございます。はい。これーについては
2:06:50	屋外
2:06:53	屋外に、
2:06:55	設置または使用する設備に対するハザードに対する考慮ということが、設備だけじゃなくてアクセスルートに含まれると。
2:07:07	いう整理かとも思ってたので、
2:07:10	今でいくと、
2:07:14	防護対象の中谷犬飼。
2:07:26	ちょっと整理しないと駄目ですから、抜けそうな気がしました。
2:07:33	防護対象等の屋外とかで多分どっかで拾わないといけないんですけど、本当に抜けないよねっていうところが、うまくいくかどうかを考えながら、

2:07:43	設計説明分類の説明に持っていけないといけないのでそれを抜け漏れなくするために資料1で、どう配慮するか、資料2でどう配慮するかってところも含めて、
2:07:54	同じグルーピングがどうできるかっていう工夫も一緒に考えていかなきゃいけないかと思しますので、ちょっと考えます。はい。はい。保坂です。現状でいうとですね、
2:08:05	おそらく屋外
2:08:07	の、
2:08:09	外的ハザードへの対応ということなので、そうすると竜巻とセットになるんですよ。
2:08:17	なんですけど、竜巻の方は竜巻が主なんでって言ってますけど、これは竜巻はあまり関係なくて、耐震なんですよね。
2:08:26	耐震、さらに1.2施設ということだと思うので、大分視点が違うんですよ。
2:08:33	なんだけどそこはまとめてやりますって言ってたはずなので、漏れのないようにねっていうことでありつつ、一方で耐震評価で、
2:08:44	のものを全部そこで入れるのではなくて、
2:08:48	評価者をちょっと別でやりたいというようなこともあったりしてるところがあるので、
2:08:54	そっちに寄せたいって言いたくもなる。
2:08:58	部分もあり、どっちにしますみたいなことなので、杓子定規にも言わなくてもいいと思うんですけど。
2:09:08	分けるのであれば分けるその考え方とかっていうのを整理をして、他での対応とも合わせられるようにしていただければと思いますし、
2:09:19	しっかり論点として認識して整理をしていただければと思います。
2:09:28	はい。乳井の石田でございますはい。ありがとうございます承知いたしました。はい。
2:09:34	そうですね現状、
2:09:37	外的事象を、防護対象等、屋外の中で、多分ピックアップするということだと言いながらも、この中ではおっしゃっていただいたように竜巻をメインにと言いながら、
2:09:50	それ以外の外的事象のハザードを全部ピックアップして説明をしきりという分類にしようということ考えていましたと。だからみんなインダ考えていけないといかんかなという思っているところが現状でした。

2:10:04	その中には当然ハザードとしては耐震も含むということで、全体ピックアップしていくやり方かなと思っていながらも本当にそれ抜けなく展開できるようにっていうのと一つの分類が選ぶ、説明内容がボリュームが、
2:10:19	大きくなる場所も含めて、どう展開するかっていうところだということで認識をしてましたので、全体の分類額であったり説明の仕方、何がそこに入っていくのかということも含めて、
2:10:34	整理を進めて、お示しができるようにしたいと思いますはい。
2:10:42	規制庁コサクです。阿藤その下三つぐらい違うか。
2:10:48	五つぐらいしたいですね。最初にMOXっていうことについては、どう配慮するんでしょうか。
2:11:02	はい。二本木ニシダでございます。はい。まず資料を1の段階で、申請対象設備との関係で、
2:11:12	共用か否かということそういう意味でいうと先ほどそこだけですかって言われたところの項目が抜けてます。全部でいくと、共用であることっていうのを、ちゃんと明示をしていくと。
2:11:24	いうことを、あとは共用であることを考えながら、必要な要求事項が何かという説明すべき項目とのリンクを図り、資料2、E0、資料2資料3で説明するときに、
2:11:37	共用であることを認識しつつ、認識しながらですね、その要求を、目標要求も含めて一応ね要件が達成できると、いうことを、
2:11:47	資料3であったり、評価が必要な場合は資料4であったりというところで説明をしていくということで、展開ができればと思ってました。
2:11:59	規制庁コサクです。そうだと思いますので、抜け漏れのないように整理してください。
2:12:06	そうする等、
2:12:10	どっちが先かみたいなどころはあるんですけど、
2:12:16	次の段階で水曜日の段階で再処理の説明、
2:12:22	分類説明グループも整理されて、MOX等の前後関係っていうのも整理されると思っていいんですかね。
2:12:36	はい。日本イシハラでございます。はい。まず今思ってた前提としては今、MOXが第2回の申請対象をやっている中では、
2:12:47	再処理が第2回で対象としてはイトウ、ギャップがあるので、
2:12:54	再処理は共用だという制限をしているものもうMOXでは第4回だったり空いてるものは今回対象にしてないところでその辺で、ただ出るということは今現状認識しているところです。

2:13:07	そういう意味で、再処理が今回第2回で、設計説明分類を設定して説明グループ設定しながら説明する中で、
2:13:15	モック数との共用っていうのも踏まえた上での設計は全部説明し切るということで考えてました。
2:13:22	ただ後はもうコサクです。すいませんちょっと。
2:13:26	混乱そうなのでここの整理ですけど、MOXの第2回申請の中では、
2:13:34	再処理、共用のものはないってことですか。
2:13:46	はい。二瓶ニシダでございますDBの世界で堂々あるにしろ、再処理がば一道路の申請は
2:13:54	竣工以降に、設工認上は使うということもあるのでそういう意味では第2回には共用の部分はあります。はい。
2:14:03	古作です。わかりました。そうするとそれぞれで
2:14:07	共用の配慮を説明すればよくてどっちが先かみたいなのはないってことです。
2:14:12	はい。逃げる者でございます。はい。おっしゃっていただく通りでございます。はい。
2:14:20	はい。規制庁の丹治ですけど、ちょっと復習なんですけど、最初にトームクのとりあえずルーバー、MOXは第4回でやって最初には代議員っていうのがよくわかんないけど、今回のやつではなくその次にさらに人がいるでしたっけ。
2:14:36	はい。日本インダでございます。はい。えーとですねすいませんまずとりあえず藤堂の話ですよね。鳥居エンドウの話は、MOXが今回4分割中の第2回で、道道の申請をします。
2:14:52	再処理場と言われると、今回の新規制基準を受けた竣工までにある設工認上は、どうどうは存在しないことで存在しないっておかしな話なんですけど。
2:15:04	CDが壁の状態申請をして、体制が竣工した以降に、堂々をつなぐということ設工認を申請しようと。竣工後の第2弾としてやろうということ整理をしてました。
2:15:17	規制庁谷さん、そのときに、今回は第2弾で出てくる道道っていうのは、最初いずれ共用しますよっていうところは謳うんでしたっけ。
2:15:27	はい。日本原燃石原でございますはい。この扱いを經理やらないといかんなど思いながらもうこれが設工認を出すのはMOXの竣工に向けては、



2:15:38	共用していることを前提に設工認を出しますので、堂々があつて、ここは対象と共用するというのと、共用における考慮事項というのも申請をしないといけないという認識で整理をしました。
2:15:54	ここで今回の新規制基準の施行にギャップが多少生じるところを、多分どう扱うかってところはあると思ってます。はい。
2:16:04	規制庁の谷です。なんで、再処理の第1回と第2回の本丸部分のSとの共有部分はないけれど、さっきだけ再処理と共用する部分を入れようってことですよね。でもうちとしては、
2:16:18	はい、宮城西田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りでございます。はい。
2:16:23	規制庁タジリ、
2:16:25	でも荒瀬。
2:16:27	状況はわかりました。ちょっとその視点でちょっと見るので今後、助教わかりました。
2:16:40	規制庁コサクです。ちょっと4ページから外れてしまうんですけど、
2:16:45	資料2、
2:16:49	有井。
2:16:51	説明分類なんで資料一位にも関連してくるんですけど、
2:16:57	どれを取条文にするんですかとかっていうのの考え方って、
2:17:02	整理できてるんです。
2:17:09	はい、与儀西原でございます。はい。
2:17:15	そこがですね本当に大枠の考え方だけを今、私が提示できてやっつとどまってると思ってます。
2:17:29	今回の設工認における、設計で説明すべき項目、いわゆる各条文の要求事項等も踏まえた設計で説明すべき項目の、
2:17:40	重要度と、あとは設備自体の重要度、それは、
2:17:45	外部ボックス寄りになってしまうかもしれませんが今回の変更の観点での設備の重要度っていうんですね、その組み合わせで何をしよう、丈夫にするのかっていうのを考えると、
2:17:59	ということで考えてました。なぜ設備の重要度が出てくるかってのは、条文ごとの
2:18:07	横並びで、どれがメインの設備かその設備によって諸条文がどこに寄せたらいいかということを決めたいなというのもあって、条文要求の重要度と設備の重要との組み合わせ。

2:18:20	考えようということで今、まず大枠は考えてましたがそこから先のステップを多分下が作っていかないと処分誰も決められないなと思っていて、そこを詰めなきゃいけないというふうには考えてます。はい。
2:18:34	規制庁コサクです
2:18:37	わかりました。何ですかね。
2:18:40	まずは、
2:18:42	C、どうですか、取り合えずー。
2:18:46	展開できる活きるでやっていただいて、何らかは本文で書いてあって、
2:18:53	資料 1 CEO、
2:18:56	次の段階で出された際に、迷っていれば、その迷いお話をさせていただきながら考え方を整理をもう少ししないといけないんですね。
2:19:07	なりますし、迷わずに整理ができ、
2:19:11	或いは若干の周り、あれと整理ができてみて違和感がないということであればその程度でいいんでしょうということでしょうし、と。
2:19:20	ということなので、資料 1 はあれですよその次の段階での共通中に出す際にし、
2:19:29	引き出されるんですね、資料じゃないごめんなさい、資料。
2:19:33	広井千佳。
2:19:34	しょう。
2:19:35	主要条文整理するのは資料 1、資料 1 だと。
2:19:43	あれし、
2:19:44	資料 1、資料 1 で説明文が出てくるんですけどその徹底説明文決めるベースにし条文がいるのでそこは今、
2:19:54	田坂に資料 1 でも 2 でもどこでも出てこないんで、そこは何かどっかで示す必要があるかなと。
2:20:02	思ってます。
2:20:05	コサクです
2:20:08	そうですね。
2:20:10	説明グループ整理する際には主条文って明示をされるので、少なくともその段階で判断をされていて、
2:20:22	なので本文で何らか書かれていて、
2:20:28	展開をされると、ということだと思うので、
2:20:31	資料 1 ワー
2:20:35	あれですよ

2:20:36	説明グループとかを出していくってということからすれば、
2:20:41	あれ説明グループAlike本文の中にあるのか。
2:20:45	説明グループ本部の中ですね。ただ設計説明分類は資料1に出てきて、今現状資料1に、設計説明文の横2種条文が何だと思ってその設計説明文に設定したかは書くようにしました。
2:21:01	コサクです少なくとも次回、次回、水曜日の提出資料の中で、諸条文、どう考えてるのかっていうのを改めて確認することができて、そこ
2:21:13	認識がぶれるようだったら少し考え方を議論しなきゃいけないってということで理解をしました。
2:21:21	少なくとも今の考え方それで議論できる方向性はわかったのでもいいんですけど、
2:21:26	改めて資料1はいつ出てくるんでしょうか。
2:21:37	ついでに言うと資料にもなんですけど、
2:21:40	はい。
2:21:41	ええ。
2:21:44	資料1MOXのやつは、
2:21:47	次の次の週ぐらいだったと思うんですけど最初には逆に言うと9月の、
2:21:53	中旬が今トップバッターで、
2:21:55	今後の進め方で上げていたような記憶がありますが、はい。コサクですよっていうと
2:22:04	構造設計等の資料3を初出する際に、資料12を、
2:22:10	出しますと、
2:22:11	いうことで、
2:22:13	はい。資料1は、全体ってということだったと思うんですけどそれでいいんですよね。
2:22:20	はい。宮城インダでございます。はい。とった設計説明文設定追加の資料に資料3を出すときに資料1をワンパッケージで、全体を含めて出します。はい。
2:22:34	はい、細田です。一方後続の説明分類を精査していくにあたり、説明すべき項目なりに変更が生じたとかってなると資料1にはねてくるんですけど、
2:22:50	それは適宜、こう直していきますっていう方針を説明されると。
2:22:54	いうことで、どこかのタイミングでまとめ、
2:22:57	リバイスをかけるってということでしたかね。

2:23:00	はい。弓削市田でございます。はい。いろいろと多分修正かけてくると思いますが
2:23:07	大枠0段階的には各修正の方針だったりの時に合わせて修正する。
2:23:15	場所をですね特定して、こういうふうに直していくということを書いてある塊のところワンパッケージもう1回出すとかそういう出し方をしていると思ってました。はい。
2:23:31	はい規制庁コサクです。わかりました。
2:23:37	そういった進め方っていうのわあ、
2:23:43	どこかで書かれてたような気もしなくはないんですけど、全般事項のところですかね。
2:23:56	一式提出する。
2:24:00	うん。はい。これも意味がですね。はい。
2:24:04	ここももうちょっとやり方を変えます。はい。はい。
2:24:10	はい。規制庁コサクです
2:24:12	そうですね、今後どうそういったところを管理していきますかみたいなことはちょっと整理をして、忘れないようにした方がいいかな。
2:24:20	思っています。
2:24:41	ただ、4ページまではいいですか。
2:24:44	でしたら5ページ以降ここ来ると、評価事項のやつを単独で書きちゃってるので、同じ。
2:24:54	大体包含して先ほど全体でお話したので、
2:25:01	個別確認しときたいことぐらいにしとこうかなとは思んですけど、何かある方いらっしゃいますか。
2:25:18	よろしいですか規制庁ハバサキです。
2:25:21	5ページの耐震のところなんですけれども、今これ冒頭最初に石原さんも言われましたけれども、ここら辺かなり細かい話っていうことも言われてるんですけど、
2:25:33	実際ですね、対応方針ということで、例えば、一番上の、内装機器の考慮だとか、
2:25:41	防火シャッター考慮とか、或いはそういう寸法であったり拘束条件であったりっていくつか細かい話が上がってるんですけども、
2:25:49	そもそもこれ対応方針を作成させる上で、耐震の方とこういうすり合わせといいますか協議っていうのはこれやられた結果なんでしょうか。
2:26:05	はい。弓削ニシウラでございます。はい。これも耐震関係者のMOXでもおりますし、

2:26:15	また国も言いますと競争的にみんなで話をして、この対応方針にはして ます。
2:26:26	はい。規制庁ハバサキ済まされているということなんですが何か、こちら から指摘したような内容しか入っていないように見受けられてですね、本 当にこれ抜け漏れがないのかというのが1点あります。
2:26:38	ので、十分、建物やはり北イシイの方とのすり合わせというのは志村、
2:26:45	田井というのが一つと。
2:26:47	というのは例えばですね先ほど神谷からお話がありました既認可との せえっと、変更点の話にしても、
2:26:56	先ほどMOXの話が代表に出されてるんですけども、
2:27:00	今回再処理の建物はほとんどがその既認可では、埋め込みを考慮して なかったのは今回、ほぼすべて埋め込みを考慮することということで、 MOX炉用静的地震力がすべて変わってくる。
2:27:14	と認識してますんで、
2:27:16	さらに今地盤モデルの話があればこれ地盤モデルが変われば、静的地 震力も基本的に変わるモンマて、
2:27:22	そういったところも踏まえての対応方針になってるのかっていうのがちょ っとここ、不安といいますか本当に大丈夫なのかかなと思ってますけれど も。
2:27:31	そこら辺はイシハラさんなり或いは耐震の方認識されているという理解 でよろしいですか。
2:27:37	はい竹下でございます。はい。おっしゃっていただいているように
2:27:43	必要な項目が全部出しきれてるかっていう点で非常に弱いっていうのは 認識をしています。建物、
2:27:55	等、地盤でのいろんな検討での変更点もありますし、
2:28:00	もともと今回特になんかは、ABで言う竜巻関係の、
2:28:09	対策設備が建物の上に乗っかって上だけじゃなくて横にもついたり 壁紙をしてたりっていうのもあって、
2:28:20	いろんな変更点をちゃんと考慮して設計上の配慮じゃないで説明してい かなきゃいけないっていうのは、着手時点は認識をしています。
2:28:30	ただそこに、全体をコガしてその考え方を説明するにまだ至ってないっ ていうところが弱いところだと思ってます。現状書いてある対応方針は あくまで個別にMOXで出てきたものをただピックアップして書いてるだ けで、

2:28:46	最初に含めた全体として、今後資料に資料 3、資料も含めて展開していく上で、
2:28:53	必要な用途が切れてるというわけではないと思ってますので、そういった現時点ですでに考えなきゃいけないことがわかっているものは対応方針の方にしっかりと書いていって、今後展開するで抜け漏れがないようにしていかないといけないと。
2:29:08	思いますので引き続き検討を進めていきたいと思います。はい。
2:29:15	はい。規制庁山崎です。今市原さんの認識は、確認しました
2:29:21	今例えば、
2:29:23	6 ページで書いてあるような内容っていうのはある意味細かい話で対応方針として書く必要があるのかどうかっていうのもあるんですけども、
2:29:30	個別の資料になってですね実際問題になったときに、上流はじゃあどうなってるという、上流はどうなってんのって言った時に、あれ、対応する上流の文章はないねみたいなことが第 1 回の時にも、
2:29:43	何とかあったというふうに記憶してますんでですね上流段階からですね、そこはきちんと抜け漏れがないようにということをお願いしたいと思います。
2:29:52	よろしくをお願いします。
2:29:54	はい、宮城吉田でございますはい、ありがとうございます。はい。おっしゃっていただいたような会議をしっかりと、展開をしていきたいと思えます。はい。
2:30:05	はい、規制庁、私からは以上です。
2:30:09	規制庁カミデですけど、5 ページ目の 3.2. 1 の作業方針の
2:30:18	④番、一番下ですけど、資料 4、どんなもんかっていう話なんですけど、
2:30:25	今評価結果についても説明するってなっていて、
2:30:30	別に許容値を満足してますみたいな話を聞き食うようなこともないんだらうなと思ってたんですけど、どういうことをイメージして書かれていますか。
2:30:51	はい。日本原燃石原でございます。それでいいのかどうかという議論はあると思いますが、評価結果についてはどちらかという
2:31:03	2-2 と 3-2 の中で説明するものとしてのアウトプットとして、計算書が出てくる。そういう意味でなぜかな。
2:31:14	資料 3 の②の中でも、評価については、添付書類No.の計算結果に示すみたいな、書いてあるものも今、すでに資料 3 の②で、米印で展開をしていたりと。

2:31:28	いうものが、いいとも含んでいたということで考えてますはい。
2:31:35	藤。規制庁、網です。
2:31:37	まずは、
2:31:38	ここでどんな話をするかっていうのは、共通次の本文で、まずは書かれてくるってことでいいですね。
2:31:47	はい。宮城ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りで事業者の中でそもそも何を相手にするのかっていうところを変えていくということが大事だと思ってます。どっち、結果といえば評価の方法であったりその考え方、
2:32:02	あとそこに使う、使うパラメータってどういうものから持ってくるのかということの考え方なり、実際使ってるパラメーターがどういうものかというところが、視点としては必要なことかなと。
2:32:16	結果、同じとおっしゃっていただいたり、マルかバツかの話で上手くっていう結果を出す人は、いないと思いながら言ったのであれですけど、0って結果が出てくるだけですので、
2:32:26	それほどそちらにウエイトが来るものではないと思ってます。はい。
2:32:31	はい。規制庁神谷です。
2:32:35	何とか最初に引っかかったのは結果って書かれてますけど、
2:32:39	整理するべきは結果の見方っていうんですかね、今日、
2:32:44	ていうところでそういう
2:32:46	ことだと評価方法みたいなところに包含されて、
2:32:50	結果ってなんだろうなど。
2:32:52	出ましたで、今石原さんの話したのは何か、計算書っていう話もあって、ベースが計算書なのかっていうところも、うん。
2:33:02	そういうイメージでもなかったののでいずれシヨン本文で目的をまず整理をしましょう。あとは、資料に資料3との関係を整理しましょうという中で、どんなものが出てくるのかっていうサンプルはですね、
2:33:15	すぐにとは言わないですけど、早めに認識合わせした方がいいなと思いますので、
2:33:21	準備の方よろしく。
2:33:29	はい、日本イシハラでございます。はい。承知いたしました。
2:33:32	規制庁返してもっと言うならなるべくシンプルにと思っていてそんな大部なものを欲しいなとは思ってませんので、なるべく簡単に要点をどうつけるかっていうところで、
2:33:44	はい。考えてもらえればと思います。

2:33:50	はい。宮城列車でございます。はい。
2:33:54	ご配慮ありがとうございます。はい。
2:33:56	ごついものを作ろうとして時間をはかるのがうちの悪口なのではい。なるべく、
2:34:02	シンプルに、目的が達成できるものということで考えたいと思います。はい。
2:34:08	はい。規制庁、五味です。私からは以上。
2:34:14	規制庁コサクです。先ほどのハバサキの関係に少し戻るんですけど、ページとしては6ページのであれなんですけど、
2:34:24	先ほどハバサキが言った関係で言うと、一番最初に言った変更事項を漏れなく上げるということその時に上出が言ったように、
2:34:35	今回は評価資料4という関係もあるので、その点での整理をちゃんとすると。
2:34:42	いうことの内数に入ってくるのかなあというふうに思ってます。
2:34:47	一方で6ページ書いていることっていうのは、先行事項の評価での変更事項のうち、設計上の配慮っていうのを、
2:34:58	どういうふうに扱う必要があるかっていうことの例示を書かれているのかなと。
2:35:03	いうふうに思っ
2:35:05	ています。
2:35:09	で、前回お話したようなことを反映いただいているので、大分認識は共有できてきたかなというふうには思うんですけど。
2:35:19	ちょっと気になるのは許容限界のところで、一般的に設定って言われているんですけど、
2:35:27	許容限界の大元としては機能維持ということがあって、機能維持の考え方っていうので議論しなきゃいけないところは整理が不十分と。
2:35:37	いうことを言っているところがもうここでピックアップされていないようなんですけどどうなってますか。
2:35:50	はい、日本イシハラでございます。おっしゃっていただいていることは認識をしています。はい。機能維持の考え方が教育委員会になっているところがあるのを認識をしてかつ、それが今まで議論になって、協議会という機能維持の方針っていうかね。
2:36:09	そこの展開が十分まだできてないんでってところ、もうあったと認識しますのでそういうところも、作業やる側も私も認識はしていますので、抜けがないように、



2:36:24	書いておかないといけないかなという認識はしました。はい。
2:36:29	はい、保坂です。そういったところのポイントを押さえるのが、対応方針だと思うので、細かく例示をいっぱい上げるというよりはですね、
2:36:39	なのでその点は気をつけていただきたいと思います。
2:36:45	3 ポツまでで他ありますか。
2:36:50	すいません規制庁ハバサキですちょっと6 ページでは今という限界の話になったんで、ちょっとついでと言っちゃなんですけれども
2:36:58	今上がってる項目でですねちょっとには足りないなと思ってるのが
2:37:04	荷重の裁可方法といいますか、どういう荷重を最下するんだと今荷重の組み合わせについては書いてあるんですけど、
2:37:12	これ第1回、
2:37:14	4 ページの時にも指摘をしてですね一応対応があったというふうに理解してますけれども、特にFEMで解析をする場合も、中、慣性力なのか閉院なのかだとかですね。
2:37:29	要は荷重の最下条件について、かなりこれ特にグローブボックスなんか耐震補強して壁から目標取ってるような時再開はどうすんだみたいな話もありますしですね。
2:37:43	結果に影響ある部分も、大きなところも与えるんで、
2:37:49	ちょっとこの方針で書くべきかな、迷ってたんですけども、一応重要というふうに考えますんで、記載の方をしてもらいたいと思いますがいかがでしょうか。
2:38:02	戸田です。
2:38:05	この対応方針はどうでもいいというふうにイセ一番最初に申し上げたので、ここで書かないということではなくて、変更点。
2:38:12	なりというところの中する際の、検討項目というところにしっかりとピックアップをしてくれというこ等で理解をいただければと思います。はい。
2:38:23	はい。
2:38:26	はい、日本インダでございます。はい。
2:38:31	実際の構造設計からの展開を受けて考慮する必要があるってところが、風の組み合わせの設定というところも含めて、
2:38:43	必要な箇所が抜けがないようにということとを並行箇所との展開も含めてですね、整理をしていかなきゃいけないと。
2:38:51	ということで抜けがないようにということで認識をしましたが合ってますか。

2:38:58	はい。規制庁赤城です。はいおっしゃる通りですので、それを石原さん 1 人ではなくて耐震の部隊を巻き込んで、しっかりと抜け漏れがないように記載してもらえればと思います。
2:39:12	はい。逃げるイシハラでございます。はい。承知いたしました。
2:39:16	規制庁、上條です。
2:39:19	あ、すいません規制庁亀井です。今のお話を、
2:39:23	原燃 5 からビル等、その市、
2:39:28	ない、内部の機器だとか、重量みたいなものは、まずはその欄の上に、質量ってあるじゃないですか、解析モデル設定条件が必要にこれ自重だけじゃなくて内装機器とかそういうものも含めて、
2:39:41	どこにどんなものが乗っかっていてっていうのは、この資料 3 で説明する。
2:39:46	それに対して資料 4 の評価側においては、多分その設計地震力の設定荷重の組み合わせっていうところで書き切れてはいないんだけど、こういうところで資料 3 で、
2:39:59	説明して、説明した構造に従って、解析モデルに付加していきますと、それは計算書で見るとこういうふうに示されますとかですね。
2:40:09	なんかそんなイメージなんだろうなと思って聞いてたんですけど、そういう感じで、
2:40:15	イメージを持って話をできる人が、いた方が、話進むなと思って、今口挟みました。いかがですか。
2:40:26	はい、日本原燃shallでございます。はい。
2:40:29	はい、ありがとうございます。そういう認識で、
2:40:35	しゃべれる人をふやします。はい。
2:40:39	何とも言いようがないですけど。ありがとうございます。はい。
2:40:42	よろしく願います。大変だと思う
2:40:52	他よろしいですか。そしたら最後のページの 4 ポツ 5 ポツなんですけど、
2:40:59	ちょっと四つは今日の振り返りもどうしますかっていうことにも絡むので、
2:41:05	本当の最後にしてポポツ先に話しちゃいたいんですけど、
2:41:11	一応、これは書いていただいているのは、多分 18 日の今後の進め方日やで、参考 2 か何かでついていたのを踏まえてお話したことを書いていただいているんだと思うんですけど。
2:41:25	ヒアリングの日付で書いてなくて何だろうなと思いつつなのですが、

2:41:30	認識はそういうことでいいですね。
2:41:33	はい。はい。日本イシダでございます。はい。回答おっしゃる通りです。かつ出した後になって思ったのもおっしゃる通りです。はい。
2:41:43	規制庁コサクですわかりました
2:41:47	この資料どうこうということでもないの
2:41:51	認識はわかりました。で、その上で、この文章自体も、結局、資料案は今日提示だったと思うので、そっちで話を進めていけばいいかと。
2:42:03	思ってますが、今日何か話をしたいことってありますか。
2:42:11	はい。イノウエニシダでございます。はい。おっしゃっていただいたように今日すでに並行して記事を出させていたでますので今の時点で特段、ございません。はい。
2:42:23	これまた、水曜日にヒアリングをさせていただければと思ってました。はい。
2:42:28	はい。規制庁コサクです。わかりました。ポツについては今日の提示資料で、改めてということにしたいと思います。
2:42:36	そうしましたら最後 4 ポツ全般事項で振り返りの仕方或いは、共通 12 年でブラッシュアップどういうふうにしていくのかっていう考え方と、
2:42:48	いうことで、振り返りを本当の最後にしたいので共通 12 の
2:42:55	進め方について、ここで今メモしてあるんですけど、
2:43:01	今後もこの対応方針を、
2:43:05	整理し直してここで維持管理するのか。
2:43:08	共通 12 本分のところの最後なりどっか 2 今後なり、ツジの仕方みたいなことで書いて、管理していくのか、どうしますか。
2:43:26	はい。弓削ネシアでございます。まず今回の対応方針でやらせていただいた通り本文のところで書きながら
2:43:39	後出てくる個別の資料の中も全体の方針、かつ共通の本文でしっかりと書き表していけないといけないっていうのが全般的な宿題だと認識をしておりますので、
2:43:51	共通寿命の本文、雑誌する時にですね、当然その時点で、全部が全部織り込めていければあれなんですけど、
2:44:02	そこでまず、対応しきれなかったものがあれば当然その中での案件としてその後に、
2:44:10	つけさせていただき、かつ、その本文をやりとりする中で出てきたものについては、本部への反映がちゃんとできるようにですね、その後ろにつけつつ、

2:44:22	管理、維持管理をしていければなと思っておりました。
2:44:31	規制庁コサクです。共通 12 の本文なり宿題事項なり、今後のブラッシュアップの方針も明示されるっていうことでよかったですかね。
2:44:41	はい。ヤギのインダでございます。はい。ちょっと回りくどくてしょうがないアノ所、申し訳ないですおっしゃっていただいてる通りです。はい。
2:44:49	はい。補足ですわかりました。
2:44:51	そうする等、振り返りなり、対応方針の整理ですけど、
2:45:00	方角は今後は共通 12 本分でそこがわかるようになるということで、適宜本ブラッシュアップと。
2:45:08	いうことで具体は進んでいくと。
2:45:13	いうことの時に、
2:45:18	振り返りの仕方として、
2:45:25	ここの今日のこの話については、共通 12 本分反映SIMMERすと、
2:45:32	こういう内容を入れ込みますというようなことを、
2:45:36	とメールっていうことが振り返りになると思うんですけど。
2:45:42	あれですかね、元に戻って振り返りとしてのメモぐらいで済むという、
2:45:50	ことなのか。
2:45:52	先日のように、その場でうまくその方針まで整理ができなくて、
2:46:01	今回のような、ずっと束ねての方針というわけじゃないんだけど単品としての方針、振り返りということでメモを提示するかと。
2:46:10	いうのは、しばらく続けていくっていうことですかね。
2:46:17	はい。弓削ニシダでございます。まずおっしゃっていただいてる通り原理原則はやはり、記憶が新しい家の件なんですけど、
2:46:31	そのヒアリングの終わった段階で、何、何が課題かと、いうこととそれに対してどう対応するのかということを通認識を図れると。
2:46:44	いうことが、そもそも、こちらがそういう認識をちゃんと持っているかということを表示できるというのが重要だと思ってます。
2:46:53	ので、原則はやはり、ヒアリングのアップで、その場でやりとりをするということベースにした上で、
2:47:03	ただそこではやはりどうしても対応方針こうやっていく、どこにそれを落とすとしていくかというところまで言い切ることができない場合は別。
2:47:14	別途、その考え方も付した上で資料を提示させていただくと。
2:47:20	いうことで対応させていただければと思います。はい。
2:47:25	はい。補足です。そうするとですね、

2:47:29	今回の対応方針は非常に整理が不十分ということなのですが、
2:47:37	次、
2:47:38	水曜日の共通 12 の資料で基本的に全部対応されると。
2:47:45	ということだと思いますので、
2:47:49	一旦リセットをかけて、
2:47:54	いくと。
2:47:55	ということかと思ってますんで、そのときに、
2:48:02	対応しきれていないものとかわあ、
2:48:05	改めて整理をして、
2:48:09	対応方針に残しておく。
2:48:12	いうことでいいですかね。
2:48:15	はい。日本原燃石田でございます。はい。まずはおっしゃっていただけてる通りかと思えます。はい。
2:48:23	まず前提、次出すものでは、全体をリセットするつもりで消し込んでいくと、いうことを前提に考えてました。
2:48:33	どうしてもという場合はそのものが何が対応できてないかっていうのは当然別、またシートとして起こしておいて、それをいつまでにやるのかということも含めて、認識をするということかと思ってます。はい。
2:48:51	はい。規制庁コサクです。今言っていたところからするといつまでにやるのかみたいなことを書く欄がないと、ということなので、右側にその欄をつけてくださいということはいいいですかね。
2:49:04	はい。日本イシハラでございます。それも冒頭申し上げるべきですよ。はい。以前のやりとりで、これについては対応方針をいつまでやるのかということ当事者としてやはり管理すべきだという認識を持ってましたので、
2:49:19	いつまでやるのかという対応期限とかいうのを、一番右でつかなの欄に設けるということで考えてます。はい。
2:49:30	はい。ゴソクです。今回は、基本的には水曜日提出ということが自明なのでということで理解をしておきますので次回以降、整理をしてください。
2:49:41	あと次回、その差分の部分は整理をしなきゃいけないなり、或いは今日の振り返りどうしますということなりと、
2:49:51	いうことでなんですけど、
2:49:54	書いていただいている藤梨衣も 9、
2:49:59	前回の振り返りでここまでは

2:50:02	画面共有で話をしたところなので、目的を明確にしてそれとの対応でちゃんと構成をしようと。
2:50:11	いうことになっていただいているのですが、今日は結局その再処理のやつとかができてないじゃないかみたいなことがあって、
2:50:21	今後は少し不安なんですけど、
2:50:24	その点をまた今日、
2:50:26	もう多分堂々めぐりのような気もするので、
2:50:30	次回以降担当していきましようねっていうことで、改めて原燃社内でその考えを頭の整理をするということでもいいですか。
2:50:44	はい、弓削根井者でございます。はい。できてないことの埋まり裏取りをしながら、
2:50:50	敗訴。そうそうしますというのも心苦しいんですけどはい。
2:50:55	本日のやりとりも含めてしっかりと社内で共有をして、共通認識を持って採用すると。
2:51:03	いうことで対応させていただきたいと思います。はい。
2:51:09	はい。補足ですよろしくお願ひします。それで言うんですね、
2:51:14	ここのメモは、今後はここではなく、全般の
2:51:21	社内での、
2:51:23	ヒアリングに向けた、
2:51:27	メモみたいなどころに行くのかなと思うんですけど。
2:51:30	現状だと二つ目のポツと三つ目のポツってダブってるような気もするん。
2:51:35	ですけど、
2:51:39	三つ目のポツあれですかね前回のバージョンからリバイスをかける際のポイントってことなので、
2:51:46	継続して残すようなものでもなくてことなんですかね。
2:51:50	はい西田でございます。はい。おっしゃっていただいて通りかと思ひます大枠は二つ目のポツが、
2:52:01	そのあとのやりとりも含めて、上書きし切らずに個別に残してますけど結局は、対応方針的には二つ目のポツで十分。
2:52:14	定義ができるかと思ひますので、はい。ちょっとこの辺も、全体として社内でメモを残すなり対応方針を作るなりしても、
2:52:25	やはり何らか、謀臣として何が効くかというのは整理をしていく必要があると思ひますので、対応させていただきます。はい。
2:52:34	はい。四つめのポツもう何か

2:52:38	どの程度書きますかっていうような古藤出野。
2:52:44	留意事項のような気はするんですけど、
2:52:49	この表現だけでは、何をもって適切って思えるかどこまで具体化すべきかっていうことは、多分伝わらないんじゃないかなと。
2:52:58	思いますので、今後実践していきながら、
2:53:03	イメージを膨らませそれが、
2:53:05	今後サポーターとして追加していく人にも理解できるようになっていうようなことで、拡充していただければとは思うん
2:53:15	ですが、
2:53:16	少し今日の話の中で、
2:53:20	気になるのは、方針としては整理してもう具体やり漏らしがないようになっていう点で、例示としてこういうところですよっていうのを書いておきたいってことだと。
2:53:32	すると、そう言ったことなんかをまとめる、まとめ方みたいなことで、テイクノートしといた方が、
2:53:42	作業できるのかなという気はしましたけど、どんな感じですかね。
2:53:51	はい。日本イシハラでございます。はい。そうですね。
2:53:59	細かい点も含めて、やりとりした中で、ここは忘れない方、忘れちゃいけないとか細かいところでもやはり手をさ。
2:54:09	開けておかなきゃいけない検討があった場合に、大きな方針だけ変えてもやっぱり、忘れてしまうこともあると思うので、
2:54:17	備忘録とは言わないですが留意点として、個別の話もある種変えていくただそれは全体の方針の中でのどういう位置付けなのかってのがわかるようにした上で残していくと。
2:54:31	いうことも含めて、どういうふうに、記録として残していくかと、市方針として残していくか考えたいと思います。はい。
2:54:43	はい。
2:54:44	古作です。
2:54:46	でも、
2:54:47	点でわあ方針の中の具体化なり例示っていう古藤付記していくっていうことだと思うので、
2:54:55	今日の資料だ等、記載の適正化として以下の点についてもっていうような言い方なんですけど。
2:55:02	それだとちょっと上の方針に基づいた例示っていうふうに読めないの で、

2:55:08	記載の仕方としてはもうちょっと考える必要があろうかなというふうに思います。
2:55:13	はい。日本原燃者でございます。はい。おっしゃっていただいている通りで、
2:55:19	目指したかったのはそこです。はい。チハラ北川ありますので、そこはどうしたかったかということをちゃんと目指したいと思いますはい。
2:55:30	はい。古作です。その上そういう状態にしてくのはいつでどう、
2:55:36	Dブラッシュアップなり、考え方を安定させていくかということなんですけど、先ほど言ったように、再整理するのは水曜の資料。
2:55:47	を踏まえてというタイミングなので、その際2アノぬ
2:55:53	残った分を抽出して整理をするというときにしっかりと考えていただいて、
2:56:01	それでその資料のヒアリングで受けたコメントをどう入れていくかと。
2:56:07	いったところで話ができればと思うので、
2:56:10	共通12を出した後、ヒアリングまでに、対応方針を整理し直して、
2:56:21	今日通常2のヒアリングの時から、
2:56:25	リバイスの運用を話をすると。
2:56:29	いうことにし、
2:56:30	すれば、少し頭の整理をして、議論ができるようになるかなと思うんですけど、対応できますか。
2:56:45	はい。日本原燃志田でございます。はい。承知しましたおっしゃっていただいている所先ほど
2:56:54	本文に関することは1回セットするというのもあるので、消えたものをデータ分割残るものについてはどうということが留意事項としてあるかということも整理をした上で、
2:57:05	どこの時点でそれを反映するのかということも含めて、見える化することによって認識をしました。はい。
2:57:14	はい。補足ですよろしくお願ひしますって本当だったら、水曜日に資料とあわせてって言いたいところなんですけど、今日のこの状況だと、共通12の本文なりを精査するだけでももう手一杯。
2:57:27	だろうと思うので、ヒアリングまでに整理すればいいですよということで、
2:57:33	100%とは言いませんけど言ってるというふうに認識をしてください。
2:57:44	はい。ご回答ありがとうございます。はい。
2:57:50	規制庁館です。



2:57:52	ちょっと参考まで聞いてみたいんですけど、明日竜巻の資料を出そうとしてたと思うんですけど、いっとうしようとしたんだっけ。
2:58:06	シンボ。
2:58:07	日本原燃石黒です。パートナー木野資料につきましては、
2:58:13	一応その共通 12 の前段となる作業項目ということで、これと、
2:58:21	このような、資料 2 がどうやとかっていうことじゃなくて前段出すものを、はい。すいません規制庁コサクですけど、田尻が言いたいのは、
2:58:32	対応方針として整理し直してくださいっていうのを、共通 12 と同じような考えでやってくださいねっていうのを竜巻溢水に求めている、その分の資料が一竜巻は明日溢水は木曜日と、
2:58:46	ということで提出になっていると思っていて、その内容は今日の共通中にも的を見ると、
2:58:55	今話をしたものは反映してあるような状況じゃ当然ないですよねと言ったときに、
2:59:02	共通中にわあ、極論言うとう。
2:59:06	今週中は整理の時間をもらって来週のどっかで出せればっていうふうになりつつ、竜巻水はじゃあどうしますっていうことを聞かれていると思って教えてください。
2:59:21	はい日本原燃の石黒です。竜巻の、共通時にこちらにつきましては、共通 12 回おいていただいて、
2:59:32	今話してるのは、共通 12 で作業法人か季節ヒアリングでの指摘事項に対して、対応方針示すやり方を整理して、それは共通に関してさすがに間に合わないんでヒアリングの場で話せるといいですねっていう流れになったんですけど。
2:59:46	竜巻に関しては同じような指摘をしたつもりなんですけど、それに対して火曜日、明日の時点で、
2:59:54	それが今コメントリストみたいな形で整理してるかどうかは知らんですけど、そいつがいると思ってんですけど、まず竜巻でコメントでしたみたいなまず作ってます。
3:00:04	はい。日本原燃集合です。はいコメントリストは作っております。ただ、基本的にですね、そのコメントリストってやつを共通 12 みたいに作業方針をちゃんと示してくれると目的を踏まえた上でっていう話を、
3:00:17	できているつもりなんですけど、竜巻は今何を明日示そうとするかっていうのを整理したいってことです。
3:00:26	はい。本件のイシグロです。

3:00:29	はいコメントリストを我々、作らせていただいておりますが、作業方針というのはまだ、まさに今、
3:00:37	のヒアリングをしっかりと聞いた上で、お出しできるクオリティーをしっかりと考えないといけないなというところで、準備しようとしていたところです。
3:00:48	衛藤。
3:00:50	竜巻の明日出す資料というのは、
3:00:54	共通 12 を出すことを直接共通場に出すことではなくて、今のやりとり、掘切クマザカ、
3:01:05	明日の対応。
3:01:11	規制庁コサクですけどスケジュール表ではですね、明日、竜巻については括弧書きで、竜巻に係る修正対応方針と、
3:01:22	いうふうに書いてあって、我々がこれを理解するのは、
3:01:26	今日のヒアリングで使っている共通 12 の、
3:01:30	ものの竜巻バージョンが来ると思っていたんですけど、
3:01:36	何か石黒さん共通 12 ではなくてとかっていやそのはなからそんなこと思ってねえよということで一生懸命言われてんですけど、何行勘違いされてるんですかね。
3:01:59	規制庁コサクです。先ほどコメントリストを作ってますってということだとすると、
3:02:04	まだ全然その対応方針としての整理のし直してということに手がついていなくて、コメントリストのままですいません見てくださってということですか。
3:02:15	日本原燃の石黒です。いえ。
3:02:18	そんなつもりは当然なくてですね、まずコメントリストを作成した上で対応方針に書き換えてかかるというかですね、我々の認識をしっかりと記載していかないといけないというふうには当然考えておりました。
3:02:33	現時点ではですね、
3:02:37	このレベルにはなっていないのが実態ですので、
3:02:41	ちょっとした、向けてですねしっかりと作成させていただきたいというふうには考えております。明日提出であることも十分中承知しております。市長の田尻です。
3:02:54	ちょっと易しいな感じに行きますけど共通中には、
3:02:58	もうそんなさせんスギヤマで無理ですよ。ただ、説明方針だけでも説明できるようにって言うてる中で、
3:03:04	明日の時点で竜巻出せますか。

3:03:09	だからこそ、今回はちょっとそこまで行けてないけどコメントリストを出したから、今こんなふうに行こうと思ってるとか何かポートピアとかいうしてるのかなと最初思ったんですけど今の状況でどんな感じですか。
3:03:22	はい。日本原燃の石黒です。お話しはできると思うんですけども、明日お出ししたところでですね、
3:03:33	と十分なものには仕上がらないかなというふうには思っておりますので、
3:03:39	今日の議論を踏まえてしっかりとちょっと考えさせていただいて、例えばお時間あ、すいません、規制庁コサクですけど、何かかみ合わないんですが我々はそのしっかりとしたものを出せと言ってるわけじゃなくて、
3:03:53	どう進めるつもりですかっていうことを聞いているだけなんです。そもそももう竜巻が一火曜日提出木曜日日やと。
3:04:02	やっているのはその後の作業を、
3:04:06	あまり認識のずれがないようにしておくために確認しておく必要がありますよねっていうことで、特に前回のヒアリングで振り返りをうまくできなかったのもので、
3:04:17	メモ起こしをして、話をしましょうと。
3:04:20	ということですから、しっかりとしなくてもいいんですよ。
3:04:26	まず、前回の振り返りをやりましょうっていうことだから遅れちゃいけないんですよ。
3:04:32	もう遅れてるぐらいなので、
3:04:34	一方で、今後ちゃんとやっていくためには更新の整理の仕方っていうのは、竜巻の担当者も認識し認識していかなきゃいけないので、ブラッシュアップは必要ですよと。
3:04:48	ということなので、そのブラッシュアップについては、共通 12 でのブラッシュアップと、フェーズ合わせながらやっていったらどうですかと。
3:04:56	ということなので、とりあえずは暫定版で今週やりつつ、来週ブラッシュアップをかけて、具体的な資料を提示する時には、そのもので、
3:05:07	見直したもので提示します、共通中にと同じようにやっていきますと。
3:05:11	ということでもいいんじゃないんですか。
3:05:15	日本原燃の石黒でございます。
3:05:17	すいません全くその点、誤解しておりました。
3:05:23	まずはしっかりといただいたコメントを認識を、

3:05:29	共通認識できるように、それも提示しつつですね、共通住民の中で、それをどのように取り組んでいくのかといった方針について、オオハシできるようにしたいと思います。以上です。
3:05:44	規制庁コサクですそれでいうとやっぱり竜巻の前の話なり今の話なりということだと、進め方なり、
3:05:54	何、何のタスク目的と、
3:05:59	達成していく。
3:06:01	必要があるのかっていう、一番上流の要求事項というかですね、問題意識っていうのが、まだ共有しきれてないっていう感じがするので、そこを使うのがSteeringチームの仕事なので、
3:06:15	よくコミュニケーションをとっていければなというふうに思います。
3:06:21	ちなみに溢水の方はまだ木曜日というので余裕はありつつ、水は物量感がとんでもなくあるので、
3:06:30	そんなすぐにはできないよなっていう気もしてるんですけど、どんな感じですか。
3:06:38	はい、日本原燃の高谷でございます。おいしい
3:06:41	やっていただいている李、認識と、私の理解としましては、
3:06:48	今回物流が多いというところではい。
3:06:52	木曜日までできるかどうかっていうのは本日のヒアリングを理解して、改めてご連絡をさせていただければなというふうに思っております。以上でございます。
3:07:06	規制庁小阪です。逆に溢水の場合ワー、
3:07:10	木曜日は、
3:07:12	の資料は何で、
3:07:17	おいおいでも対応方針がいいということによかったんでしたっけっていうところはどうか。
3:07:22	ですかね。
3:07:26	はい。日本原燃の高谷です。
3:07:29	木曜日に提出しようとしていた資料の中身はこれまでのヒアリングのコメントを踏まえて、主な論点とそれの対応方針っていうところを、
3:07:42	リストという形で整理してお出ししようというふうに考えておりました。以上です。
3:07:52	規制庁コサクでそうする。
3:07:54	結局は
3:07:56	でしかも確認時間を1週間とっているっていうことからすると、

3:08:03	引き続き物量があるということを想定してる感じはあるんですけど、
3:08:11	共通 12 でDBSAの関係の整理っていうことをやって、
3:08:17	いけばおのずと解消することが多く、
3:08:19	あるような気がするんですね。
3:08:23	なの
3:08:25	そのあたりの交通整理なのかなあ、今回出されるのはっていう気がしていたん。
3:08:31	ですけど、
3:08:33	今の話からするとなんかそれもあやしい感じが。
3:08:38	しているの
3:08:41	先ほどの竜巻と同じようにですね、作業方針として認識ずれがねえかみ たいなことは、早めにやった方がいいのかなっていう気もするんですよ。
3:08:51	そうすると、生煮えでもいいから今の道州制をしようとしてんだっていう のを、
3:08:57	見せてもらってしまったらいやそうじゃなくてさっていう今日の共通 12 で の対応方針として整理ができてないところっていうのを話をするヒアリン グを、
3:09:07	1 週間かけずともやっても、とも思うんですけど。
3:09:14	逆に提出をおくらせて、
3:09:18	確認時間短く、
3:09:20	ヒアリングをやるっても、ヒアリングをさらにずらすでも、
3:09:28	結局その先の作業との関係でいつ何をやるべきかっていうことになると思 うんですけど、どんな感じですか。
3:09:36	山口さん、どう思います。
3:09:38	規制庁ヤマグチ先生、ちょっと最低限前回まで出しされてたようなコメン トリストっていうのはそれこそ資料のところを反映していくっていう形なん か同じようなものが、
3:09:51	同じようなコメントを何ヶ所にも書いてて、何か、
3:09:55	この整備に必要なものが何かっていうのがいまいちちゃんとまとめられ てなかった状態だったので、
3:10:02	運転ごとに整理して、対応方針をまとめて示していくっていう形には最 低限していきたいものを提出していただきたくて、
3:10:13	前回の今後の進め方のヒアリングでの話を聞いてると。
3:10:18	そういった整理は進めもその時点で進めては、言ってあって、

3:10:24	ここは、
3:10:26	その対応方針の中で、今後舞台を示していきますって言ったような事項が、実際その共通 12 の資料に聞いた資料二、三とかなりにどういう展開をしてくかっていうところまでが、
3:10:40	書いてないって何かそういう状態だったのかなあとは、
3:10:46	話を聞いてて思ってます。
3:10:51	最低限論点ごとにどういう対応してるかっていうのを確認をまずは確認できればと思うのでそういったリストってか対応方針の
3:11:03	形になってるのであれば、またしていただければいいのかなと思ってますが、今どういう状況でしょうか。
3:11:14	はい。日本原燃の高谷でございます。まさにおっしゃっていただいた通りの準備、ステータスというところで作業をさせていただいております。
3:11:25	今後一斉についてもですね認識のずれというところがあってへのヒアリングを取り、
3:11:33	妨げないようにですね早めに、認識共有をさせていただければなというふうに思っておりますので、今姿勢作業を
3:11:44	提出した上で、ヒアリングを設定させていただければというふうに考えております。以上でございます。
3:11:52	はい、瀬田ヤマグチです。
3:11:54	ちょっとその中でも、ちょっと前回ノースヒアリングで気になったこととして
3:12:00	何か溢水は、結構SAとの整理っていうのがおっきい、そこが頭から何も、
3:12:07	しかも今度できてなかったからそこは整理されてると思うんですけども、それがその全体のヒアリングを聞いてると。
3:12:16	そこは何か現時点ではこうも示せない。
3:12:19	というような話にも聞き取れたんですけど、
3:12:24	そのあたりの状況ってどう。
3:12:27	どんな感じなんでしょうか。
3:12:42	はい。いう名称でございます。おっしゃっていた溢水、1 政治のイセだけではないんですけどディー・ディー・エス線引きというか展開の仕方、おっしゃっていただいたように

3:12:54	今日の共通イネのやりとりもしっかりと踏まえた上で、にしないといけないということもあるので、現状、認識としてはそちらに玉を預ける形のリストにしかならないと思っています。
3:13:09	とはいえ、その他受け取った後どうするかっていうところを、1セガワではちゃんと対応方針として示しておかないといけないということも認識した上で、
3:13:20	方針として抜けがないかということ、早めに、その段階で抜け漏れがないか、共通的な方針として間違っていないかという点で、高谷が言った通り、
3:13:33	早目に共通認識を持てるような場を設けられればということでした。
3:13:38	はい。規制庁山口です。わかりました。はい。イセ以外にもその話以外にも実はいろいろあると思うので、確認できればと思います。
3:13:52	規制庁コサクですその意味ではそのDBSAの関係は共通 12、
3:13:58	脳死資料になり何なり、
3:14:02	整理をしていくということになるので、そこに合わせて提示できます。そこで整理をしていくと、溢水としてはこのタイミングでこういうことができますっていうようなことの、
3:14:15	進め方の整理ができるっていう、
3:14:18	ものになるんだろうなと思っているので、先ほど言ったように少なくとも、木曜日の資料は、今日通常により先出しで先ほど言った右側の、
3:14:29	進め方の方針っていう、
3:14:32	のは、欄として入れてもらわないと。
3:14:36	意味がない資料かなと思うんですけどだい。
3:14:39	上部ですか。
3:14:40	イマイれてます。
3:14:43	はい。日本原燃の高井でございます承知いたしました。進め方の資料を準備して入れたいと思います。
3:14:50	すいません。これ資料準備してじゃなくて、
3:14:53	対応方針のリストのところの右側に、しっかりと欄を設けてねっていう、ということで、その欄には日付だけじゃなくて、共通 12 のこういうところで対応をまずして、
3:15:06	資料 0their0 ぜ。
3:15:08	加来城 00 ρ 資料別紙 1 は、その後、どうのこうののところで反映してきますっていう。
3:15:17	全体方針を示すってことと思ってたんですけど。

3:15:33	日本原燃の高谷でございます。失礼しましたコメントリストの中にはい。今後の課題についての進め方というところと、あとせえ提示する資料というところを、
3:15:45	を明確にさしていただきたいと思います。
3:15:48	以上です。
3:15:50	規制庁コサクです。
3:15:52	ちょっとまだ回答の表現で認識が合ってなさそうな気はするんですけど、とりあえず今後出す。
3:16:01	対応方針というもののフォーマットっていうのは、
3:16:07	共通 12 として提示するのは少し先になるかもしれませんが、今日の振り返りの断面から
3:16:15	Steeringチーム全員で議論をして、こういうふうにしてまとめていこうという認識を合わせて、
3:16:23	少なくとも、
3:16:24	フォーマットとしては、五つのところからはしっかりとさせていただきたいと思います。
3:16:33	はい。0 志田でございますはい。Steeringチームで話して共通的なものとして、一番最初に出るのが必須になると思いますはい。全体の整理をさせていただきます。
3:16:46	まず認識としてやらなきゃいけないのが先ほど京都Gの方でも話が出た、対応期限というものと、あと各タスクが並行して走ってますので、
3:16:56	そこで言ってる方針がどのタスクとリンクをするのか、どういう点で、それぞれ紐づけがあるのかということを示して、井鳥が当然あるのでそのタイミングも含めてわかるように、進め方として認識できるように、
3:17:10	フォーマットを工夫させていただきます。はい。
3:17:15	はい。コサクです。その上
3:17:18	今日の振り返りはどうでしょうか。
3:17:21	1 件 1 件文字起こししてもそもそもこれが駄目なところで、どうしようもないところあるんであんまり、
3:17:28	やってもな、もう共通 12 で示してくださいって気はしてるんですけど。
3:17:34	どうしましょう。
3:17:40	はい。日本原燃者でございます。はい。今日いただいたご指摘、やりとりがあったものも、共通注意に対しての、どう変えていくべきかと。



3:17:51	いう点で、今日やりとり提示をさせていただいたものと、共通というかそこに足りなかったものを、やりとりでお話をいただいたと思ってますので、
3:18:02	次提出する共通順位の中でしっかりと反映をしてキャッチアップさせていただくということで対応させていただければと思います。はい。
3:18:19	何問ありますか。
3:18:27	はい、規制庁コサクわかりました。
3:18:33	では振り返りの仕方なんかは、整理をしていただいて、フォーマットとかは、井清のところから見せていただくということですけど、
3:18:45	全体どういう、
3:18:46	今回はこの4ポツで書かれてたやつをどうブラッシュアップしていくかみたいなのは、適宜進め方冷やのところこういう工夫してますとか、こういうふうにやっていますとか、こんな議論してますみたいなことを、
3:18:59	紹介いただくっていいですかね。
3:19:03	はい。日本原燃石田でございます。はい。これも共通的な何でしょう、対応が必要な方針だと思いますので
3:19:13	適宜、説明書きの中で、こういうふうに今やっているという、絵姿とか姿をお示しするようにさせていただきます。はい。
3:19:28	はい。
3:19:29	先生の話ですね、安全シェアとして規制庁から何かございますでしょうか。
3:19:37	特に原案はよろしいでしょうか。
3:19:42	はい。逃げが特にございません。
3:19:45	それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音を提出します。